

平成26年度

与謝野町教育の事業点検・評価
報 告 書

平成28年1月

与謝野町教育委員会

与謝野町宮津市中学校組合教育委員会

1 事務事業点検と評価の概要

(1) 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告し公表しなければならないとされています。

この報告書は、同法の既定に基づき、平成26年度与謝野町教育委員会が執行した事務の取組状況と成果をまとめ、自己点検による評価と学識経験者による外部評価をいただいで整理したものです。

この点検と評価を今後の教育委員会活動や教育施策に反映させることで、与謝野町における教育施策が、住民の皆様方のご理解の下に、より適切・円滑に推進できますよう、事業の見直しや取組の強化を図ることとしています。

(2) 点検と評価の方法

教育委員会では、第1次与謝野町総合計画で示したベンチマーク（指標）を基本に、各事務・事業を「評価シート」による4段階評価により自己点検・評価を行うとともに、課長による組織評価を行っています。さらに、学識経験者による外部評価をいただいでいます。

◆評価地

4	目標は達成されている
3	目標の達成が間近である
2	目標の達成が遅れている
1	目標の達成が不十分である

◆評価委員（学識経験者）

佛教大学 教育学部教育学科 原 清治 教授

2 教育委員会開催状況

- (1) 開催回数 ○定例会議 12回
 ○臨時会議 4回

(2) 審議状況

開催日	区分	審議・協議事項
4月21日	定例	・平成26年度社会教育の重点について ・与謝野町立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について ・高齢者部分休業取扱要綱の制定について

		<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者同行休業取扱要綱の制定について ・与謝野町社会教育委員の委嘱について ・与謝野町公民館運営審議会委員の委嘱について ・全国学力学習状況調査結果の公表について
4月30日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町いじめ防止基本方針（案）について
5月26日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町社会教育委員の委嘱について ・与謝野町公民館運営審議会委員の委嘱について ・就学援助審査
6月23日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について ・与謝野町伝統的建造物群保存地区審議会委員の委嘱について ・学校プールの一般開放の取り扱いについて
7月1日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町教育委員会委員長の選任について ・与謝野町教育委員会委員長職務代理の指定について ・与謝野町教育委員会教育長の任命について
7月15日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町立小学校の管理教職員の人事異動について
7月22日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度与謝野町の教育の「点検と評価」について ・与謝野町いじめ防止対策推進委員会等設置条例（案）について
8月21日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度与謝野町使用小学校用教科用図書採択について ・就学援助審査について
9月24日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町いじめ問題対策連絡会議設置要綱の制定について ・教育委員会委員の学校訪問について ・就学援助審査について
10月21日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町立幼稚園規則の一部改正について ・中学校組合委員の推薦について ・教科書採択地区の統合について
11月20日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝地区及び京丹後市地区における教科用図書採択地区の統合について
12月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会学校訪問の感想について ・教育委員会会議録の公開について ・町長との懇談会の内容について
H27 1月28日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・与謝野町立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> ・岩屋小学校再編についての要望に対する回答（案）について
2月24日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度与謝野町立小・中学校の管理職員の人事異動の内申について
3月11日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度与謝野町立小・中学校の一般教職員の人事異動の内申について
3月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について ・加悦伝統的建造物群保存地区保存計画の変更の承認について ・丹後教科用図書採択地区協議会規約の承認について ・与謝野町立幼稚園規則の一部改正について ・与謝野町立幼稚園保育料の減免に関する規則の廃止について ・平成27年度学校教育の重点について ・平成27年度社会教育指導の重点について

(3) その他の活動

- 学校訪問（H26.10.6～11.27） 14日間（2幼、9小学、3中学）
- 教育委員研修会 2回（京都府連合会、丹後連合会など）
- その他（各種学校行事の参観、教科書採択地区協議会など）

3 事業の総括

与謝野町教育委員会では、毎年度、「与謝野町教育の重点」並びに「与謝野町社会教育の重点」を掲げ、京都府教育委員会との連携のもとで地域の文化や資源を取り入れた与謝野町ならではの特色ある教育行政を推進しました。

平成26年度の特徴的な事業としましては、学校教育の面では、子ども達への心理テストであるQ-Uの取り組みを一層進めていくため、町内の小中学校の先生で構成する「活用推進委員会」を発足させました。特に調査データの見方と活用方法が重要となるため、町教委主催の教職員研修会でもこれに特化した講演会を開催するなど、町全体の組織的な取り組みとして進めました。これにより、教師個々の能力では対応しきれなかった部分を客観的判断することが可能となり、より良い学級づくりを進めることで、いじめ予防や学力向上を図っていくこととしています。

また、「いじめ防止対策推進法」に基づいて「与謝野町いじめ防止基本方針」を策定し、「いじめ問題対策連絡会議」を設置して情報共有に努めるとともに「いじ

め防止対策推進委員会」を立ち上げて重大事態への調査や審議など速やかな対応が行えるように組織づくりに努めました。

また、平成23年度から設置してきました「適応指導教室」につきましては、年々、その設置意義が果たされてきている中で、指導員の負担も大きな課題になってきていることから、4月から、フルタイム勤務していただける指導員をお願いすることができました。

また、「子ども子育て会議」においては、福祉課と保健課との連携のもと、町内の幼稚園、保育園の再編計画や子育て支援事業計画、さらには小学校の再編計画など3つの大きな問題について、協議を行っていただき、それぞれ答申をいただきました。2年間の長きに渡って、延べ21回に及ぶ会議に加え、会議主催の保護者意見交換会や先進地視察を実施するなど、かつてない程の熱心な議論を重ねていただきました。既に、「幼保の再編について」は前年末に答申をいただいております、本年度は、「子育て支援事業計画」と「学校の適正規模適正配置の基本方針」について年度末に答申をいただきました。今後は、答申の意見等を尊重し、基本方針の見直し等について検討していくこととしています。

また、ハード面では、昨年度からの繰越事業の「加悦中学校改築工事」の実施設計が完成し、工事の請負契約を締結して、11月より第1期工事に着手することができました。予定では、夏休み期間での着工としていましたが、入札不調により約3ヶ月の遅れとなりましたが、東日本大震災の復興事業等による景気浮揚や労務員不足等の状況の中で原因究明に努め、2回目の入札で契約にこぎつくことができました。

さらには、町内の保育園と幼稚園を統合し、認定こども園として再編を行うこととし、まずは、岩滝地域の保育園と幼稚園を統合して岩滝認定こども園を整備するため、岩滝幼稚園の敷地内での整備について調査を行いました。

次に、社会教育の面では、国民文化祭の後継事業として開催しています第3回蕪村顕彰俳句大会を実施し、加えて、町内全小中高等学校で展開しております俳句教室も、さらなる充実を図り、本町の特色ある教育の柱として、「俳句」のより一層の推進を行っております。

加悦伝統的建造物の保存対策事業については、本年度も4件の家屋について保存修理を実施しており、多額の補助金を支出しています。

また、昨年度は、「丹後建国1300年」の年ということで、本町でも記念事業として「丹後国遷政」歴史連談を5回に分けて実施しましたが、この貴重な講演をまとめ、記念集として発刊いたしました。

一方、ハード面では、明石地区公民館の新築工事が完成し、地域コミュニティの推進と防災避難施設整備を進めることができました。

また、昨年度では、大江山体育館等の施設改修に多額の予算を執行しましたが、本年度は、教育費全体の予算調整の中で、前年度比較では大きな減額としております。

与謝野町の教育の点検および評価に関して（平成26年度分）

原 清治（佛教大学教授・教育学部長）

平成26年度の与謝野町の教育に関して以下のように総評する。

与謝野町の教育は、「今年度も良好」と評することができる。とりわけ、今年度においては継続的な効果が認められる「適応指導教室」の指導員の確保、社会の流れを踏まえた「いじめ問題対策連絡会議」の設置、「子ども子育て会議」を経た「子育て支援事業計画」および「学校の適正規模適正配置の基本方針」などは、今後の与謝野町の教育において、重要な役割を果たすことが認められる。

また、昨年度の改善点として指摘した「町民への情報公開に即した内容・方法」として、与謝野町HPからの会議規則や公開要領の閲覧等が進められており、次年度の議事録公開に向けた取り組みも積極的に評価したい。

学校教育においてはQ-Uテストを活用した委員会や研修の実施など、よりよい学級づくり・いじめ防止に対する予算計上が客観的な指標に基づき配分されている。今後の予算執行は数値的な根拠に基づくことが求められるため、与謝野町においては、この点が評価シートおよび予算執行に明示されている点において評価できる。

上記のような改良点を指摘できる一方で、さらなる改善の余地を残した点についても言及したい。

1. 与謝野町の教育をどのように進行するのかといった中長期的なビジョンをにらんだロードマップが欲しい。そこには、教育理念や与謝野町の教育が今後向かうべき方向性が明示されていることが望ましい。その際に、いつまでに、何をするのか、といった段階的なスキーム設定が求められる。
2. 根拠となるデータや資料が増えているが、まだ専門的知識を有する層にしか理解できない部分が多い。HP等をもとにそれらを町民に公開するという視点から、図表化などのビジュアル面を重視した内容が求められる。

与謝野町の教育の特徴は、北部地域の特色である人間関係の濃密さを前提とした質の高い教育が実践されている点にある。それは、今回の報告書の中でも、子育てふれあい広場、サマーチャレンジ等の取り組みに対する効果が見られることから指摘できよう。

上記で指摘したように、与謝野町の子育て支援や就学前教育に関する事業については、評価シートを見る限り、一定の効果を持っていることが読み取れる。その一方で、生涯学習支援については改善の余地を残していることも指摘できる。たとえば、どの社会教育施設で、どのような学習ニーズに沿った口座を開くのかといった役割分担などを検討するといった視点が必要となるであろう。限られた予算執行を考えるならば、同じ内容の講座を知遊館と公民館で開催するのは町の負担が大きい。町民の学習ニーズを把握し、それに沿った講座設定は不可欠であるといえるだろう。

次年度の評価報告書には、いじめや学力のみならず、与謝野町の子どもたちのさまざまなデータを付帯し、それが京都府全体と比較した場合に、どのような長所・短所があるのかを見やすく分析的に記述することも求められよう。なるべくビジュアルで見やすい記述であれば、町民に公開する点においても有用であると考えます。

最後に、各評価シートを個々に通してみた場合、以下の事業に対する自己点検評価の数値が低い。その点を指摘して、まとめとしたい。

- ・ **公民館活動事業**

課題改善の欄にも記載されている通り、地区公民館と地域公民館の位置づけの整理は必要不可欠である。知遊館や中央公民館との役割分担を明確にする必要がある。

- ・ **地区公民館整備・管理事業**

ハード面においてはどうしても学校教育が優先とならざるを得ず、地区公民館の整備・管理については必要最低限に留めざるを得ない。地域コミュニティの拠点であるが、予算に応じた対策が求められる。

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育総務課	小池信助	杉本真由美	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
教育委員会運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
地方教育行政の組織及び運営に関する法律・与謝野町教育委員会事務局組織規則・与謝野町教育委員会に対する事務委任規則		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
教育委員会の開催、教育委員会の点検及び評価、教育委員の研修、各種団体補助		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託	一部委託	
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
開かれた委員会をめざし、傍聴や会議録等の公開について広く広報する。	毎月の委員会開催について、文字放送やホームページ等で広報するとともに、公開請求により会議録を公開する。	町の広報媒体を使用し、広く広報することができた。また、公開請求のあった事案について会議録を公開したがホームページでの会議録公開ができなかった。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	1	教育委員会費
事業	1・50	教育委員報酬 教育委員会費一般経費

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	3,765	3,438	3,499	その他…交際費
総事業費の内訳	人件費		2,100	2,100	2,100	
	物件費		945	1,039	1,079	
	扶助費					
	補助費		677	240	250	
	投資的経費					
	その他	43	59	70		
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,765	3,438	3,499	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	
1	教育委員会活動	教育委員会議の開催	回	14	12	16
2						
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
情報公開(開示請求によるもの)	回	1	2	2	委員会議の傍聴についての案内並びに会議録の公開
委員会議の開催日時の広報	回	14	12	16	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり			
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/> いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり			
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり				
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり			
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input checked="" type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 教育委員会議の形骸化が指摘される中、当委員会は積極的な施策と取り組みを展開している。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 本年度一年かけて会議録のホームページでの公開方法について協議を重ね、会議規則に加え、詳細な公開要領をまとめることができた。 また、かねてからの念願であった町ホームページのトップ画面上でのバナーを設置することもでき、平成27年度からの公開準備が整った。 今後は、さらに開かれた教育委員会を目指していきたい。							
(課題の解決についての提案など) 委員会議の積極的な公開を行う必要があり、広報の工夫が求められる。また学校等の適正規模適正配置について委員会として策定した基本方針を基に統廃合の準備が進められている。今後は統廃合の情報など、住民への周知と閉校等に向けての取り組みをどのように進めるか検討が必要である。	自己評価 3							
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	堀口義雄
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
指導主事等設置事業		<input type="radio"/> 新規	18年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	教育内容の充実	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町教育委員会指導主事設置に関する規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
		<input type="radio"/> 義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		計画などの策定
学力向上、教育課程、生徒指導、特別支援、教職員研修など、学校教育一般に関する指導を行う。 教職員の人事や評価などを行う。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
学校教育・学校経営等に対する適切な指導助言の実施。 教職員に対する適正な評価。	校園長会議(毎月1回)や問題事象等発生時等に、適切な指導助言等を行う。	学校を取り巻く環境の変化に対応した指導助言を教職員に行うことにより、学校から保護者・児童生徒等に対して適切な対応をすることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	3	指導主事等設置事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	6,292	6,239	6,482	
総事業費の内訳	人件費		6,197	6,163	6,399	
	物件費		95	76	83	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
財源内訳		千円				
国・府支出金						
地方債						
その他特定財源						
一般財源			6,292	6,239	6,482	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1	学校訪問	訪問指導	回	随時	随時
2	学力向上指導	指導助言	回	随時	随時
3	問題事象・不登校等対応	問題事象等の把握、対応指導	回	随時	随時
4	教職員の人事・サービス・研修	指導助言	回	随時	随時
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
指導主事の適正な配置	人	4	4	4	
人事主事の適正な配置	人	1	1	1	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="radio"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 問題事象等の増加並びに複雑多様化	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 専門的見地からの指導であり、今後とも必要と考える。 常勤職員の設置について検討していきたい。			
(課題の解決についての提案など) 対応等の増加による指導主事の勤務日数等の増				
		自己評価		3
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者		
		教育推進課	長島栄作	堀口義雄		
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度		
教育相談事業		<input type="radio"/> 新規	18年度	年度		
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定		
事務事業の体系						
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節)	地域と共に育てる楽しい学校	
		(基本計画)	こころの相談体制と不登校児童生徒対策の充実			
個別計画						
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】				
与謝野町教育委員会教育相談員設置に関する規則		<input type="radio"/>	ソフト事業	施設の維持管理		
			義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定		
いじめや不登校、学習や生活など学校・家庭における問題、悩みについて、教育相談員を置き、児童生徒、保護者等に助言や援助を行う。		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>		
		委託	<input type="radio"/>	全部委託	<input type="radio"/>	一部委託
			<input type="radio"/>	委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
児童生徒保護者等に対して、効果的な指導や助言、支援などを行う。	相談しやすい時間設定・場所等を確認。また学校等との連携強化を図った。	児童生徒・保護者等に対して、精神的な配慮・支援を行うことができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	5	教育相談事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	1,254	1,082	2,007	
総事業費の内訳	人件費		1,244	1,082	1,988	
	物件費		10		19	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,254	1,082	2,007	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	
1	相談業務	電話・来所(延相談者数)	人	181	176	176
2						
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
相談員の適正な配置	人	1	2	2	人数は1名増加となっているが、半日が2名になったもので相談時間の変更はなし。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="radio"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 年々、相談内容が複雑・多様化し、学校との連携を取り実施する必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 相談室を平成26年度から加悦庁舎1階に移転し相談業務を実施したが、更に住民が教育相談室を利用しやすい環境づくりを進める。			
(課題の解決についての提案など) 相談員の勤務時間の増や相談員の増員等による体制強化により、学校とも連携を強化する。				
自己評価 3				
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育総務課	小池信助	吉岡敦文	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
教員住宅管理費		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町教職員住宅管理規則		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理		
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定		
住宅使用料の徴収、入退去手続き事務、住宅の補修		補助金の支給	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
		委託	全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/>		
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
なし	なし	なし

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	6	教職員住宅管理事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	4,893	4,470	4,437	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		202	162	124	
	扶助費					
	補助費		4,691	4,308	4,313	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源		3,078	3,464	3,228	
	一般財源		1,815	1,006	1,209	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	
1	住宅使用料の徴収	口座振込、現金納付、12月分	件	8	8	10
2	入退去事務手続き		件	3	3	7
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
住宅入居者	戸	8	8	10	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない		
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない		<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い		<input type="radio"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 加悦教職員住宅の老朽化	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 加悦教職員住宅の老朽化が著しく、町全体の公共施設マネジメントの中で、中長期の計画を整理し、活用方法等についても検討していきたい。							
(課題の解決についての提案など) 年次計画での修繕実施								
自己評価								
3								
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="radio"/>	4 縮小を検討
	<input type="radio"/>	5 統合・連携を検討	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="radio"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者	
1 事務事業の概要		教育総務課	小池信助	杉本真由美	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
奨学資金貸付事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町奨学資金貸与条例 与謝野町奨学資金貸与条例施行規則		<input type="radio"/>	ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/>	義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/>	建設・整備事業	計画などの策定	
高校・高等専門学校・大学・専修学校生を対象とした奨学資金の貸与		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託	一部委託	
		<input type="radio"/>	委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
旧町時代を含めた懸案対象者に対して償還状況の確認依頼を続け償還に繋げるとともに、滞納額の減少に向け日常的に働きかけを行う。	昨年度行った台帳及び会計資料等の調査・整理を基に懸案対象者へ連絡をとるとともに、滞納・未納へ毎月文書にて督促を行った。	昨年度に引き続き償還再開依頼をすることで償還再開につながった。また滞納者については現金払いから口座振替への移行もあり、全額ではないが大部分の解消につながった。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	3	教育振興費
事業	1	奨学資金貸付事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	6,496	5,232	5,968	投資的経費…基金積立金 その他…貸付金
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		36	12	12	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		2,200	0	496	
その他	4,260	5,220	5,460			
財源内訳	国・府支出金	千円				特定財源…基金繰入金
	地方債					
	その他特定財源		0	0		
	一般財源		6,496	5,232	5,968	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 奨学生決定(継続者含む)	町広報紙・HP等で募集、新規は奨学資金貸与審査委員会へ諮り決	人	13	14	13
2 貸与	年4回に分けて貸与(5・7・10・1月)	円	4,260,000	5,640,000	5,220,000
3 償還	10年償還	円	7,282,636	5,890,100	5,684,600
4 基金積立	一般会計から基金へ積立	円	2,200,720	0	0
5 基金繰入	貸与額の一般会計持出し分を基金から繰入	円	0	0	0

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
旧町滞納者の整理	人	15	5	2	旧町滞納者整理…事務引継時、償還者との連絡が途絶えていたものについて、償還開始に繋がった人数。
新町滞納整理	円	52,500	162,300	142,800	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題						
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある	H25年度、26年度と償還額が貸与額を上回り、単年度収支では黒字の状態となっているが、償還期間が10年間と長く、社会経済の状況もよくないことから、未納や滞納が続く特定の償還者が増えてきている。また、旧町時代からの懸案事項へ			
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない				
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある					
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある					
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある					
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある					
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある	手作業で行っている納付管理について、基幹システム等を利用し収納状況の把握や時効管理、納付書発行履歴などをシステム管理を検討する必要がある。			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
事業委託の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/>	委託化は不可能		
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>			
改善の可能性			<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 高校授業料無償化以降、近年の貸与申請者の減少により、高校生を対象とした貸与をH26年度で終了とした。また、H25年度以降、貸与額より償還額が上回っており、単年度黒字を続けている。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 旧町時代からの貸付モラルの徹底不足により、滞納者対策が不十分であったが、近年の全庁的な滞納対策の取組みの中で、大きな成果をあげてきている。 今後も借り易く、貸付条件も低い本制度を、貧困対策のひとつとしても取り上げ、貸付モラルの徹底を図る中で、制度を存続させていきたい。			
(課題の解決についての提案など)				
	4			
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者	
1 事務事業の概要		教育総務課	小池信助	杉本真由美	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
高等学校奨学金事業(通学助成)		新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町に居住する高等学校生徒通学費補助金交付要綱		<input type="radio"/>	ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/>	義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/>	建設・整備事業	計画などの策定	
遠距離通学(片道15km以上)を行う高等学校生徒の保護者に対する通学費の一部助成【年間実費額に対し5%の補助】 ※H25年度末で要綱廃止とし、H26年度は経過措置でH25実績分のみ補助		<input type="radio"/>	補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託 <input type="radio"/>	全部委託	一部委託	
		<input type="radio"/>	委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
<ul style="list-style-type: none"> 支給要件判定のための所得状況確認において、税務課に依頼している所得証明書の発行など他課の事務負担軽減と事務の迅速化を図る。 支給要件該当者の申請漏れを防止するための広報の徹底。 該当者、該当校へ制度廃止に係る通知 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹システムによる所得状況照会を行うことで所得証明書の提出を不要とし、事務の迅速化を図った。 補助制度廃止の通知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> システムからの所得状況照会により、他課の負担軽減を図ることができ、事務の迅速化につながった。 制度廃止の通知を行うことにより、支給該当の未申請者の申請につながった。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	3	教育振興費
事業	2	高等学校奨学金事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	367	83	—	制度廃止の経過措置がH26年度で終了したためH27年度は事業なし。
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		367	83		
	投資的経費					
	その他					
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		367	83		

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 申請案内送付	1年生は対象者を中学へ照会。2.3年生は前年度補助金受給者へ送付。	件	155	70	69
2 前期申請受付	申請書、承諾書、領収書	件	25	-	-
3 前期補助金交付	高校へ通学証明依頼、交付決定	件	24	-	-
4 後期・全期申請受付	申請書、承諾書、領収書	件	85	5	3
5 後期・全期補助金交付	高校へ通学証明依頼、交付決定	件	79	5	3

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
補助金受給実人数	人	92	5	3	前期・後期の重複者を除いてカウン

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境)	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 廃止			
(課題の解決についての提案など)				
		自己評価		3
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input checked="" type="radio"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

高校授業料無償化の影響か申請件数は近年は減少傾向にあり、公共交通の低料金化に伴う通学費の低額化のため、制度見直しにより平成25年度末をもって要綱廃止とした。
 ※経過措置として、H25年度利用分に限りH26年度において交付。

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	堀口義雄	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
適応指導教室事業		<input type="radio"/> 新規	22年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節)	地域と共に育てる楽しい学校
		(基本計画)	こころの相談体制と不登校児童生徒対策の充実		
個別計画					
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町適応指導教室要綱		<input type="radio"/>	ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/>	義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/>	建設・整備事業	計画などの策定	
指導員を配置し、学校・関係機関と連携を図り不登校の児童生徒が学校復帰できるよう指導支援を行う。		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/>	全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/>	委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
関係機関との連携強化 通所者の学校復帰	通所指導 登校支援 家庭訪問指導 学校・保護者との連絡・連携	①学校へ登校する時間や回数が増加した。 ②引きこもり傾向にある生徒が通所できるようになった。 ③学校との連携強化が出来た。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	3	教育振興費
事業	8	適応指導教室事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	4,379	6,105	6,346	
総事業費の内訳	人件費		20	321	412	
	物件費		3,188	4,687	4,721	
	扶助費					
	補助費		1,171	1,097	1,213	
	投資的経費 その他					
財源内訳	国・府支出金	千円		2,246		みらい戦略一括交付金 2,246
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		4,379	3,859	6,346	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	
1	通所指導	指導員が通所する児童生徒に対し学校復帰に向けて指導支援を行う。	人	7	4	4
2	登校支援	通学時の同行等	人	2	1	1
3	訪問支援	児童生徒宅に訪問し支援を行う	回	0	70	70
4	学校訪問等連携調整	相談部会、ケース会議等に出席	回	110	101	101
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
指導員の適正な配置	人	3	3	3	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題				
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 通所者は減ったが、電話相談件数は増加となった。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 本年度から、フルタイム出勤の指導員を確保することができ、通所者への訪問や学校等との連携など、充実強化を図ることができ、体制については継続していきたい。							
(課題の解決についての提案など) 施設環境の整備								
自己評価								
3								
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="radio"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	奥野眞敏
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
ALT事業 外国青年招致事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域から世界、世界から地域を考える	
		(基本計画)	国際感覚豊かな人づくりの推進	
	個別計画	学校教育において、外国語指導助手(ALT)を積極的に活用し、国際理解、語学指導を行うことで、若年層から異文化学習、語学力の向上を図る。		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
招致外国青年任用規則		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
外国青年を招致(財団法人自治体国際化協会あっせん)し、活用することにより、町内小中学校児童生徒の国際理解教育、外国語活動を推進する。また、地域に派遣することにより住民との国際交流を推進する。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
外国語教育・国際理解教育の充実	学校訪問・授業 地域での国際交流活動	児童生徒・地域住民と交流することにより、異文化に対する理解・国際交流の推進を図ることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	4	外国青年招致費
事業	1	ALT事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	13,461	13,382	13,979	
総事業費の内訳	人件費		12,523	12,856	12,257	
	物件費		722	310	1,506	
	扶助費					
	補助費		216	216	216	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				任用人数により 交付税算定有り (一般財源に充当して いない)
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		13,461	13,382	13,979	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1	ALTの活用	授業、学校・園行事、地域行事	日	随時	随時
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
予算執行率	%	96.3	100	95.5	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	・JET青年の能力等に差がある。 ・費用が多くなる。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
効率性	手段・プロセスの効率性	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある
		事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
事業委託の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input checked="" type="radio"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある		<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み								
<p>(施策を取り巻く環境)</p> <p>当町はJETプログラムを採用している。全国的にはJET離れも見られ、民間の外国青年派遣業者に委託する市町も増えている。民間導入を検討した経過もあるが、現在の外国青年に不満はないことおよび民間派遣で新たに発生する問題(直接指揮監督できない)を加味した結果、当町では引き続きJETプログラムにより事業実施する。</p> <p>(課題の解決についての提案など)</p> <p>当町では、過去に元ALT1名と個人契約していた。もとJETであり、日本語能力、事務能力も高かった。自治体国際化協会等への負担金、住居斡旋なども不要であり費用を抑えることが可能。ただし、本人の希望と当町の要望が合わず、人選が困難か。</p>	<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>外国語教育については、国際化・グローバル化とともに求められている重点課題であり、国際感覚を養うためにも、より一層の事業推進を図る必要がある。 特に、4人のALT間や教育委員会事務局との情報共有と共通認識の確保に努め、ALT個々のスキルアップに努めていきたい。</p>								
	自己評価 3								
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> 1 重点的に継続</td> <td><input type="radio"/> 2 現状のまま継続</td> <td><input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続</td> <td><input type="checkbox"/> 4 縮小を検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討</td> <td><input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討</td> <td><input type="checkbox"/> 7 終了・完了</td> <td></td> </tr> </table>	<input checked="" type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	
<input checked="" type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討						
<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了							

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育総務課	小池信助	中上伸午
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
小学校施設整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域とともに育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	学校施設・施設の整備	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文部科学省学校施設整備指針 与謝野町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
施設老朽化の改善、機能の向上及び利用者が安全安心に活動できるよう大規模改修、改修工事を行う。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
計画化されたものではなく、単年度で予算計上された施設の整備を行う。	夏休み前、夏休み期間中に整備を完了させなければならない事業について計画どおり実施できた。	年度当初の計画どおり実施できた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
事業	3	小学校施設整備費

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	15,646	30,663	0	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		1,260	2,857		
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		14,386	27,806		
	その他					
財源内訳	国・府支出金	千円	2,449	0		・合併特例債26,300
	地方債		8,300	26,300		
	その他特定財源					
	一般財源		4,897	4,363		

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 改修要望と実施(プール)	計画修繕と緊急修繕	件	4	4	4
2 改修要望と実施(遊具)	計画修繕と緊急修繕	件	0	0	0
3 改修要望と実施(施設整備)	計画修繕と緊急修繕	件	7	7	7
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
改修要望と実施(プール)	件	4	2	2	老朽化が進み、かつ緊急性の高い施設から順次整備を行う。
改修要望と実施(遊具)	件	0	0	0	
改修要望と実施(施設整備)	件	7	7	7	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	施設整備の設計・積算・監理業務は町、教育委員会で分けるのではなく、1課に集中して実施の方が効率的である。
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	連携の 可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	
情報公開	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある		
	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	1課に集中することにより、設計、積算に係る人件費、システム及び書籍代等のコスト削減を図ることが可能である。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済 <input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり <input checked="" type="radio"/> 委託化は不可能		
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input checked="" type="radio"/> 2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境)	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 各校とも老朽化が著しく、特にプールについては多額の運営経費を要していることから、学校再編方針を念頭に計画的な管理に努めていきたい。			
(課題の解決についての提案など)				
		自己評価		4
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育総務課	小池信助	増田 靖彦	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
自校給食事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節)	地域と共に育てる楽しい学校
		(基本計画)	教育内容の充実		
	個別計画	児童生徒に栄養バランスの取れた食事を提供することにより健康の増進、体位の向上を図る			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
学校給食法第2条		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
食育の推進や運動による基礎体力の向上など、児童の健やかな発達へ向けた教育内容の充実を図る。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安心安全な学校給食の提供 きめ細かな給食指導	栄養教諭を中心とした給食指導、個々に対するアレルギー対応食の実施。	事故なく給食の提供ができ、給食指導により残菜はもとより、食習慣も改善され健やかな発達に寄与される。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
事業	4	自校給食事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	8,422	12,394	10,061	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		8,422	12,394	10,061	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		8,422	12,394	10,061	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 給食設備維持管理事務	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時	随時
2 給食作業員賃金支払事務	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時	随時
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
予算執行率	%	99.81	100	95.51	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/> いない	
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
情報公開	他の事務事業と統合できる可能性は	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	-	ない	-	
事業委託の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり <input checked="" type="radio"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 児童生徒が減少する中、機械器具の点検等を行っているものの計画的な更新が必要である。また衛生的な機械の導入が求められる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 単独校方式のきめ細かな給食や指導等が出来るのは利点であり、今後も継続していく必要があるものの、社会状況を視野に入れ給食センターへの統合も考慮すべきと考える。 一方で、食物アレルギー対策への配慮や学校再編の動向も踏まえて、今後の給食のあり方について検討する必要がある。			
(課題の解決についての提案など) 直近の提案としては現在、献立内容や午後からの作業を行うため給食センターより人員の派遣をお願いしているが、小学校としての人員の増員が必要である。 また中長期的な提案として今後の児童数を考慮し、給食センターへの統合も視野に入れる。	自己評価 4			
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者	
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	藤井 彩	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
小学校要・準要保護児童援助事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
学校教育法第19条 与謝野町就学援助規則		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input checked="" type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
経済的理由によつて、就学困難と認められる児童の保護者に対して必要な援助を行う。(給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費等) 【要保護のみ国庫補助対象】		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>		
		<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
教育の機会均等	経済的に不安定な保護者に対し援助を行った。	保護者の経済的負担が軽減された。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	2	小学校要・準要保護児童援助事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	11,011	11,249	11,400	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費		11,011	11,249	11,400	
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	0	13	12	国庫…要保護児童生徒援助費補助金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		11,011	11,236	11,388	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 申請受付(当初・新就・中途)	学校長経由	人	210	176	196
2 要・準要保護認定	審査	人	194	171	190
3 援助費支給	7月・10月・1月・3月支給	千円	11,011	13,000	11,249
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
認定率	%	94.63	97.16	96.94	認定率=要・準要数/申請数 割 合=要・準要数/全児童数
全児童に占める要・準要割合	%	15.00	14.60	16.23	
就学援助規則の制定					

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある				
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
<p>(施策を取り巻く環境)</p> <p>全児童数は減少しているが、要・準要保護児童の割合は年々増加傾向にある。 H22年度に専用システム導入、H23年度に所得基準の導入、H24年度に規則制定を行い事務改善を図った。</p> <p>(課題の解決についての提案など)</p>	<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>対象世帯の所得による客観的判断に加え、ボーダーライン上の世帯の判断について、実態調査を行うこととした。 保護者への制度周知に努めるとともに、より正確な実態把握に心がける。</p>							
自己評価 3								
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	奥野眞敏	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
小学校情報教育推進事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	明日の人材育てる教育文化のまちづくり	(節)	地域と共に育てる楽しい学校
		(基本計画)	教育内容の充実		
個別計画					
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
IT活用による情報教育を推進するため、児童の実態に即した適切な指導を行う。		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
情報教育のレベルアップ	授業でのパソコン教室	児童が情報機器を扱う技術を向上させることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	5	小学校情報教育推進事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	27,805	30,959	28,421	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		27,805	30,959	28,421	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		27,805	30,959	28,421	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1	情報機器の活用	授業	日	随時	随時
2	PC整備	PC教室用PCリース料支払い	月	12	12
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
PCリース台数	台	277	277	275	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="radio"/> 2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) PCリース期限後の更新	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 今後も重点的に取り組む必要があり、電子黒板等の活用も含め、教職員のリテラシーの向上対策が課題である。 インストラクターによる支援には財政面での制限もあるため、学校間・教職員間の連携により、能力のある職員等を講師としての職員研修や先進的な取組の事例報告会等の開催に取り組んでいきたい。 また、一方でスマートフォンやインターネット等による「いじめ」や「犯罪」も多く発生しており、使用にあたってのモラル教育の推進を図りたい。			
(課題の解決についての提案など) 更新するにあたっての検討 (再リース・新規リース・購入)	自己評価 3			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項
IT ……Information Technologyの略。「情報技術」のことで、コンピューターやデータ通信に関する技術の総称。 ICT……Information and Communication Technologyの略。「情報通信技術」のことで、コンピューターの活用に関する技術の総称。主に公共事業でのコンピューター活用について用いられる。

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	吉岡敦文	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
小学校理科・算数教育設備整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節)	地域と共に育てる楽しい学校
		(基本計画)	学校施設・設備の整備		
	個別計画	数量基準到達、小学校間で生じている設備整備の格差解消に向け、年次計画を立て取り組む			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
理科教育振興法 理科教育設備整備費等補助金交付要綱 など		<input type="radio"/>	ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理
		<input type="radio"/>	義務的事業	<input type="radio"/>	内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/>	建設・整備事業	<input type="radio"/>	計画などの策定
理科、算数教育充実のための設備整備による理科教育振興		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/>	全部委託	<input type="radio"/>
			<input type="radio"/>	委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
各校の理科・算数備品の充実	備品の整備実施	授業での活用

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	6・7	小学校理科・算数教育設備整備事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	7,875	342	360	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		7,875	342	360	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
	その他					
財源内訳	国・府支出金	千円	3,515			
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		4,360	342	360	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1	設備の活用	授業	日	随時	随時
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
理科数量基準		未達成	未達成	未達成	
算数数量基準		未達成	未達成	未達成	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い	<input type="radio"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 国庫補助金に係る事業であり、慎重かつ適正に事務処理を行う必要があるが、学習指導要領の改正など指導内容の改善等に伴う変化に対応しなければならない。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 平成25年度～27年度は国庫補助金を活用した整備を行わないが、実際には各校とも整備率は低いため継続して事業を行う必要がある。							
(課題の解決についての提案など) 物品の購入先が2社のみとなっている。教材備品を扱う業者を開拓し広く見積依頼をおこないたい。一般の家電店等で同等の性能のものが扱われている場合もあり、見積方法の見直しを行いたい。	自己評価 3							
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="radio"/>	4 縮小を検討
	<input type="radio"/>	5 統合・連携を検討	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="radio"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育総務課	小池信助	杉本真由美	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
小学校児童遠距離通学支援事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input checked="" type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
なし。(旧加悦町からの引継)		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
通学距離が片道4km以上の児童の保護者に対し通学費の補助を行う。 【年間3,000円】		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
			<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
支給要件に基づいた適正な対象者の把握と補助。	H23年度に徹底した距離要件を基に対象者を把握。	支給要件に基づいた補助支給ができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	9	小学校児童遠距離通学支援事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	6	3	3	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		6	3	3	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		6	3	3	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 対象者リストアップ	学校へ照会	人	2	1	1
2 補助金交付	12月頃、保護者へ	人	2	1	1
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
補助金受給者	人	2	1	1	平成23年度以降、距離要件を厳格化した。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある				
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
<p>(施策を取り巻く環境)</p> <p>H23年度以降、片道4km以上の条件を徹底した。学校統廃合により今後該当校が増える可能性もある。有害鳥獣の出没などにより、公共交通機関利用の通学も考えられる。</p> <p>(課題の解決についての提案など)</p> <p>これまでの該当校は加悦地域のみだったが、今後の学校統廃合の規模によっては他地域での該当校が出る可能性もあるため、補助要綱の整理が必要と考えられる。</p>	<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>学校再編の状況によっては、通学対策を抜本的に見直す必要があるが、それまでは現行の制度での支援としたい。</p>			
自己評価				
3				
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	藤井 彩	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
小学校特別支援教育就学奨励事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱		ソフト事業		施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定	
特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な援助を行う。(給食費、学用品等購入費、校外活動費、修学旅行費等) 【国庫補助事業】		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託		一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
教育の機会均等	特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、給食費等の援助を行った。	保護者の経済的負担が軽減された。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	10	小学校特別支援教育就学奨励事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	371	427	652	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費		371	427	652	
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	131	185	153	国庫…特別支援教育就学奨励費補助金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		240	242	499	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 申請受付	学校長経由	人	15	16	18
2 支弁区分の決定	所得審査	人	14	16	18
3 奨励費支給	8月・10月・1月・3月支給	千円	371	560	427
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					国の要綱及び事務処理要領に則って行うため、特になし。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	修学旅行費は半額を支給しているが、特支は国の補助限度額があり、他市町は、補助限度額を支給している。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="radio"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 引続き、国の要綱及び事務処理要領に則って、事務を進めていく。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状維持とする。			
(課題の解決についての提案など) 修学旅行費を半額支給しているが、要保護と違い特支は補助限度額が決まっている。 他市町は、補助限度額を支給している。				
	自己評価		3	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	山本泰久
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
小学校教育振興費一般経費		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input checked="" type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	教育内容の充実	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町財務規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
与謝野町補助金等の交付に関する規則		<input checked="" type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
教材等の購入や学力診断テスト、学級集団アセスメント等を取組むことにより、学力の充実、向上、また不登校・いじめの防止、早期発見につなげる。		補助金の支給	有	無
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安定した学校・学級経営 学力の向上	学力診断テスト ハイパーQ-U心理検査 教材費等の購入	学力テスト等を行うことにより、学力アップに向けての課題がわかった。ハイパーQ-Uについては、活用に関する研修会を実施したため、昨年度より分析・検証することができ、より安定した学級集団づくりに向けて活用することができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	50	小学校教育振興費一般経費

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	15,649	15,011	26,299	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		13,448	12,458	23,392	
	扶助費					
	補助費		2,201	2,553	2,907	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	420	503	420	府もうすぐ1年生体験入学補助金 153千円 学力向上システム開発校委託金 250千円 土曜教育実践研究事業委託金 100千円
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		15,229	14,508	25,879	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1	学力の把握	標準学力診断テスト	回	1	1
2	学級づくり	ハイパーQ-U心理検査	回	1	2
3	教材費等の整備	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時
4	校外活動費等の補助金交付	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
予算執行率	%	96.3	100	95.2	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見		今後の具体的な取り組み						
(施策を取り巻く環境) 規範意識・学力が低下傾向にある。		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) いじめや不登校等の対策も含め、よりよい学級経営を進めるため、Q-U心理検査を実施・活用していく。特に、今年度は、活用推進委員会を組織し、町内全校での取組を強化した。全員研修会も開催し、さらなる検査結果の活用と実践の向けた町全体での取組を進める。						
(課題の解決についての提案など) 学力向上に向けての事業整備・活用 教職員研修の充実 問題事象・いじめ防止に向けての組織強化		自己評価		3				
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

○いじめ状況について・・・別紙資料のとおり

○京都府学力診断テストの結果等について・・・別紙資料のとおり

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育総務課	小池信助	中上伸午
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
中学校施設整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	28年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	学校施設・施設の整備	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文部科学省学校施設整備指針 与謝野町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
整備計画書により、耐震化優先順位を考慮し、効率的に耐震化を図りながら施設整備を実施する。		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	
		委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
本年度から加悦中学校改築工事に着手し、平成29年3月31日までに完成の予定。	加悦中学校改築工事の入札会が不調になり、当初7月着手の予定が10月に着手となり、約3ヶ月の遅れが生じた。	着手時期は3ヶ月の遅れを生じたが、外構工事を別途発注することにより、校舎・屋体工事は予定どおり平成29年3月31日までに完成の予定。新校舎移行の影響なし。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費
事業	3	中学校施設整備費

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	4,969	230,551	1,024,069	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		4,670	35,528	19,849	
	扶助費					
	補助費		129			
	投資的経費			192,883	1,004,220	
	その他	170	2,140			
財源内訳	国・府支出金	千円	446	18,281	160,000	・公立学校施設整備費国庫負担金(国)967 ・学校施設環境改善交付金(国)17,314 ・全国防災事業債42,800、緊急防災減災事業債79,500、合併特別債75,700
	地方債			198,000	820,800	
	その他特定財源					
	一般財源		4,523	14,270	43,269	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 加悦中学校実施設計業務	行政、学校との調整会議	回	4		
2 加悦中学校改築工事	行政、学校、業者との調整会議	回		20	23
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
耐震化率の向上	%	66.7			平成28年度完成予定の加悦中学校改築により耐震化率100%達成。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託 の可能性	<input type="radio"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境)	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) まずは、加悦中学校改築工事の進捗に努めるが、併せて、他の2 中学における普通教室等へのエアコン設置に向けた準備を進めて いきたい。							
(課題の解決についての提案など)								
		自己評価		4				
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育総務課	小池 信助	岡田 和子	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
中学校組合負担金		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町宮津市中学校組合条例		<input type="radio"/>	ソフト事業	施設の維持管理	
			義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定	
与謝野町宮津市中学校組合負担金		補助金の支給	有	無	
		委託	全部委託	一部委託	
		<input type="radio"/>	委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安全で快適な中学校運営がされるよう、交付税算入並びに町市分担金の支出。	負担金であるため、記載事項なし。	負担金であるため、記載事項なし。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費
事業	3	中学校組合負担金

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	59,046	64,018	75,580	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		59,046	64,018	75,580	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		59,046	64,018	75,580	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 交付税算入分の支払	与謝野町宮津市中学校組合分担金 条例に基づいた支出	千円	40,480	37,754	37,978
2 町市分担金の支払	交付税算入分以外の経費を構成 市町で按分	千円	18,566	28,719	26,040
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
中学校負担金(交付税算入分)	千円	40,480	37,754	37,978	交付税算入分は、学校数、学級数、生徒数 により算定。 町市分担金は、交付税算入分で賄えない 経費を構成市町別の生徒数で 按分。
中学校負担金(町市分担金)	千円	18,566	28,719	26,040	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変 更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 経常経費について、交付税算入分では賄えない 現状が通常になってしまっている。 そのため、経常経費分についても町市分担金の負担は 行わざるを得ない	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状維持とする。 H26年度より日置中学(宮津市)の生徒を受け入れることとなった が、通学バス等にかかる経費は組合負担に含めず、宮津市の単独 負担とした。			
(課題の解決についての提案など) 橋立中学校において、経費節減に向けて常に 創意工夫を行っている。今後も継続する。	自己評価 4			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	藤井 彩	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
中学校要・準要保護生徒援助事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
学校教育法第19条 与謝野町就学援助規則		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input checked="" type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
経済的理由によつて、就学困難と認められる生徒の保護者に対して必要な援助を行う。(給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費、クラブ活動費等) 【要保護のみ国庫補助対象】		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>		
		<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
教育の機会均等	経済的に不安定な保護者に対し援助を行った。	保護者の経済的負担が軽減された。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	2	中学校要・準要保護生徒援助事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	12,644	12,669	11,900	H23年度から新たにPTA会費、クラブ活動費の支給を開始した。
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費		12,644	12,669	11,900	
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	0	33	92	国庫…要保護児童生徒援助費補助金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		12,644	12,636	11,808	

5 事務事業の手段と活動指標						
事務事業を構成する業務		手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1	申請受付(当初・新就・中途)	学校長経由	人	140	125	130
2	要・準要保護認定	審査	人	128	115	118
3	援助費支給	7月・10月・1月・3月支給	千円	12,644	15,000	12,669
4						
5						

6 事務事業の実績					
成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
認定率	%	91.43%	92.00%	90.77%	認定率=要・準要数/申請数 割 合=要・準要数/全児童数
全児童に占める要・準要割合	%	21.16%	20.35%	20.92%	
就学援助規則の制定					

7 事務事業の事後評価						
チェック項目			該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり <input type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性			<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある
			<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性						
職場からの意見			今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 要・準要保護生徒の割合は年々増加傾向にある。H22年度に専用システム導入、H23年度に所得基準の導入、H24年度に規則制定を行い事務改善を図った。			(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 対象世帯の所得による客観的判断に加え、ボーダーライン上の世帯の判断について、実態調査を行うこととした。保護者への制度周知に努めるとともに、より正確な実態把握に心がける。			
			自己評価		3	
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了

9 その他特記事項						

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	奥野真敏
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
中学校情報教育推進事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	教育内容の充実	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
IT活用による情報教育を推進するため、生徒の実態に即した適切な指導を行う。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
情報教育のレベルアップ	授業でのパソコン教室	生徒が情報機器を扱う技術を向上させることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	5	中学校情報教育推進事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	7,423	4,730	4,982	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		7,423	4,730	4,982	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		7,423	4,730	4,982	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1	情報機器の活用	授業	日	随時	随時
2	PC整備	PC教室用PCリース料支払い	月	12	12
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
PCリース台数	台	86	86	86	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
事業委託の可能性		既に全部委託済	<input type="radio"/>	更なる委託化が可能	<input type="radio"/>	委託化の余地あり
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="radio"/>	委託化は不可能
改善の可能性			<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある
			<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い	<input type="radio"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) PCリース期限後の更新	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状維持とし、機器更新にあたっては、機能・環境レベルの状況を十分考慮のうえ、必要最小限の整備を行うこととする。 また、一方でスマートフォンやインターネット等による「いじめ」や「犯罪」も多く多発しており、使用にあたってのモラル教育の推進を図りたい。							
(課題の解決についての提案など) 更新するにあたっての検討 (再リース・新規リース・購入)								
	自己評価		3					
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="radio"/>	4 縮小を検討
	<input type="radio"/>	5 統合・連携を検討	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="radio"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

IT …Information Technologyの略。「情報技術」のことで、コンピューターやデータ通信に関する技術の総称。

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	吉岡敦文	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
中学校理科・数学教育設備整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節)	地域と共に育てる楽しい学校
		(基本計画)	学校施設・設備の整備		
	個別計画	数量基準到達、中学校間で生じている設備整備の格差解消に向け、年次計画を立て取り組む			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
理科教育振興法、理科教育設備整備費等補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定		
理科、数学教育充実のための設備整備による理科教育振興		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>		
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
各校の理科・数学備品の充実	備品の整備	授業での活用

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	6・7	中学校理科・算数教育設備整備事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	1,236	198	200	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		1,236	198	200	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	332			
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		904	198	200	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1	設備の活用	授業	日	随時	随時
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
理科数量基準		未達成	未達成	未達成	
数学数量基準		未達成	未達成	未達成	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題				
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い	<input type="radio"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見		今後の具体的な取り組み						
(施策を取り巻く環境) 国庫補助金に係る事業であり、慎重かつ適正に事務処理を行う必要があるが、学習指導要領の改正など指導内容の改善等に伴う変化に対応しなければならない。 (課題の解決についての提案など) 物品の購入先が2社のみとなっている。教材備品を扱う業者を開拓し広く見積依頼をおこないたい。一般の家電店等で同等の性能のものが扱われている場合もあり、見積方法の見直しを行いたい。		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 平成25年度～27年度は国庫補助金を活用した整備を行わないが、実際には各校とも整備率は低いため継続して事業を行う必要がある。						
		自己評価		3				
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="radio"/>	4 縮小を検討
	<input type="radio"/>	5 統合・連携を検討	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="radio"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育総務課	小池信助	杉本真由美	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
中学校生徒遠距離通学支援事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
なし。(旧加悦町からの引継)		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
通学距離が片道6km以上の生徒の保護者に対し通学費の補助を行う。 【年間4,000円】		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
			<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
支給要件に基づいた適正な対象者の把握と補助。	H23年度に徹底した距離要件を基に対象者を把握。	支給要件に基づいた補助支給ができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	9	中学校生徒遠距離通学支援事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	28	20	12	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		28	20	12	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		28	20	12	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 対象者リストアップ	学校へ照会	件	7	7	5
2 補助金交付	12月頃、保護者へ	件	7	7	5
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
補助金受給者	人	7	7	5	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題				
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み						
(施策を取り巻く環境) 距離要件は徹底されている。 学校統廃合により今後該当校が増える可能性もある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状維持とする。						
(課題の解決についての提案など) これまでの該当校は加悦地域のみだったが、今後の学校統廃合の規模によっては他地域での該当校が出る可能性もあるため、補助要綱の整理が必要と考えられる。							
自己評価							
今後の方向性	3						
<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	藤井 彩	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
中学校特別支援教育就学奨励事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業		内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		計画などの策定	
特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な援助を行う。(給食費、学用品等購入費、校外活動費、修学旅行費等) 【国庫補助事業】		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託		<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
教育の機会均等	特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、給食費等の援助を行った。	保護者の経済的負担が軽減された。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	10	中学校特別支援教育就学奨励事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	314	338	583	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費		314	338	583	
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	103	149	136	国庫…特別支援教育就学奨励費補助金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		211	189	447	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 申請受付	学校長経由	人	8	10	10
2 支弁区分の決定	所得審査	人	8	10	10
3 奨励費支給	8月・10月・1月・3月支給	千円	314	424	338
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					国の要綱及び事務処理要領に則って行うため、特になし。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	修学旅行費は半額を支給しているが、特支は国の補助限度額があり、他市町は、補助限度額を支給している。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="radio"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 引続き、国の要綱及び事務処理要領に則って、事務を進めていく。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状維持とする。			
(課題の解決についての提案など) 修学旅行費を半額支給しているが、要保護と違い特支は補助限度額が決まっている。 他市町は、補助限度額を支給している。	自己評価 3			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	山本泰久
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
中学校教育振興費一般経費		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	教育内容の充実	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町財務規則 与謝野町補助金等の交付に関する規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
教材等の購入や学力診断テスト、学級集団アセスメント等を取組むことにより、学力の充実、向上、また不登校・いじめの防止、早期発見につなげる。		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安定した学校・学級経営 学力の向上	学力診断テスト ハイパーQ-U心理検査 教材費等の購入	学力テスト等を行うことにより、学力アップに向けての課題がわかった。ハイパーQ-Uについては、活用に関しての研修会を実施したため、昨年度より分析・検証することができ、より安定した学級集団づくりに向けて活用することができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	50	中学校教育振興費一般経費

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	10,195	10,547	11,658	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		7,708	7,943	8,732	
	扶助費					
	補助費		2,487	2,604	2,926	
	投資的経費 その他					
財源内訳	国・府支出金	千円	110	73	70	KYO発見仕事文化体験活動推進事業補助金 61千円 土曜教育実践研究事業委託金 12千円
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		10,085	10,474	11,588	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1	学力等の把握	標準学力診断テスト	回	1	1
2	学級づくり	ハイパーQ-U心理検査	回	1	2
3	教材費等の整備	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時
4	校外活動費等の補助金交付	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時
5	各クラブの対外試合経費支出	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
予算執行率	%	94.8	100	94.2	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見		今後の具体的な取り組み						
(施策を取り巻く環境) 規範意識・学力が低下傾向にある。		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) いじめや不登校等の対策も含め、よりよい学級経営を進めるため、Q-U心理検査を実施・活用していく。特に、今年度は、活用推進委員会を組織し、町内全校での取組を強化した。全員研修会も開催し、さらなる検査結果の活用と実践のに向けた町全体での取組を進める。 27年度からは、中学校についても、全学年で検査を実施したい。						
(課題の解決についての提案など) 学力向上に向けての事業整備・活用 教職員研修の充実 問題事象・いじめ防止に向けての組織強化		自己評価		3				
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

○いじめ状況について・・・別紙資料のとおり
○京都府学力診断テストの結果等について・・・ 別紙資料のとおり

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	山本泰久
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
幼稚園管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	18年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	-	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理
		義務的事業	<input type="radio"/>	内部管理事務
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定
園児が安全で安心して通園できるよう施設の維持管理や運営を行う。		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
園児数の増	預かり保育の充実	長期休業期間においても、預かり保育を実施できるようにした。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	4	幼稚園費
目	1	幼稚園費
事業	2	幼稚園管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	21,761	24,186	28,699	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		20,375	22,770	27,228	
	扶助費					
	補助費		1,386	1,416	1,471	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				幼稚園使用料 預かり保育料
	地方債					
	その他特定財源		5,564	6,768	10,585	
	一般財源		16,197	17,418	18,114	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1	管理運営事務	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
予算執行率	%	93.1	100	96.5	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="radio"/> 4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 幼稚園・保育所の認定こども園化	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 幼稚園と保育所の一体化を図るため、旧町ごとに「認定こども園」を整備していくこととしており、「岩滝認定こども園(仮称)」の建設に向けた事務・作業を進める。 27年度から、幼稚園保育料の見直しによる所得階層別の応能負担となるための事務・作業を行う。 岩滝幼稚園については、27年度から3歳児の受入れ並びに預かり保育を実施する。			
(課題の解決についての提案など) 認定こども園整備に向けての体制整備	自己評価 3			
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直ししながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

平成29年度に2幼稚園中、1幼稚園を認定こども園として運営できるよう取組んでいる。

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	下川賢司
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
幼稚園施設整備事業 (平成27年度:認定こども園施設整備事業)		<input type="radio"/> 新規	26 年度	年度
		<input type="checkbox"/> 継続	H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画 掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
		(基本計画)	(2)学校などの再配置の推進	
	個別計画	与謝野町子ども・子育て支援事業計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
園児が安全で安心して通園できるよう施設整備を行う。 岩滝認定こども園(仮称)整備にあたり、事前調査を実施する。		補助金の支給		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="checkbox"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
岩滝幼稚園の敷地内に、認定こども園が整備できるかどうか、岩滝認定こども園(仮称)整備事前調査により、確認する。	業務委託により、事前調査の実施	岩滝幼稚園の敷地内に、認定こども園が整備できることが確認でき、3パターンの園舎モデルの提示に至った。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	4	幼稚園費
目	1	幼稚園費
事業	2	幼稚園施設整備事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円		2,916	49,431	・H26認定こども園整備 事前調査業務委託料 ・H27岩滝認定こども園 (仮称)基本実施設計 業務委託料 ・H27岩滝認定こども園 (仮称)敷地境界用地 測量業務委託料 ・H27岩滝認定こども園 (仮称)地質調査業務 委託料
総事業費の内訳	人件費					
	物件費			2,916	49,431	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				合併特例債
	地方債					
	その他特定財源				46,700	
	一般財源				2,506	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	
1	整備事前調査業務	行政、幼稚園、業者との調整	年	-	随時	随時
2						
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
事業実績	%	-	100	100	事業の完了

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	平成29年度に岩滝認定こども園(仮称)としてスタートするためには、設計や施工に至るまでが非常に短く、大変タイトなスケジュールである。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
情報公開	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託の可能性	<input type="radio"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境)	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)			
(課題の解決についての提案など)	今年度の事前調査では、岩滝幼稚園の敷地内に認定こども園(仮称)の建設が可能であることが把握できた。よって、平成29年度の岩滝認定こども園(仮称)の開園に向けて、平成27年度には基本・実施設計を行い、平成28年度には岩滝認定こども園(仮称)の新築工事事業を進めていくこととなる。			
	自己評価		3	
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7終了・完了	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	藤井 彩	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
幼稚園就園援助事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input checked="" type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
加悦聖三一幼稚園教育振興費補助金…なし。(旧加悦町からの引継) 幼稚園就園奨励費補助金…与謝野町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理	
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
●振興補助金 施設運営管理に係る定額補助。 ●就園奨励費 町内にある私立幼稚園の設置者が入園料及び保育料の減免をする場合の経費に対する補助。【国庫補助事業】		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>		
		<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の較差の是正を図る。	私立幼稚園に対し補助を行った	私立幼稚園が保護者に対し減免を行い、保護者の負担が減少した。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	4	幼稚園費
目	1	幼稚園費
事業	4	就園援助事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	1,758	1,966	1,743	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		1,758	1,966	1,743	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	320	385	279	国庫…幼稚園就園奨励費補助金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,438	1,581	1,464	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 教育振興費補助	定額補助	千円	450	450	450
2 調書提出【就園奨励】	保護者→幼稚園→教委	人	22	19	19
3 階層区分決定【就園奨励】	町民税課税額	人	17	19	17
4 補助金交付【就園奨励】	交付申請→交付決定→実績報告→額確定	千円	1,308	1,246	1,516
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
幼稚園就園奨励費補助金交付要綱改正	回数	1	1	1	平成17年度以降、一度も要綱改正が行われていなかったが、国の基準に合わせるためH22年度以降毎年実施。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	就園奨励費について、近隣市は市外の私立幼稚園に通園する場合も補助を認めているが当町は行っていない。 また、近隣市が国の上限額を支給しているのに対し、当町は国上限額の1/2の額を支給。	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
他の事務事業と統合できる可能性は		<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="radio"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
<p>(施策を取り巻く環境) 幼稚園就園奨励費について、国の上限額は年々引き上げられ、対象者の範囲も広がってきている。(当町は国上限額の1/2の額を支給) 正式な要望ではないが、幼稚園側から補助金を国基準まで引き上げてほしいという意見がある。</p> <p>(課題の解決についての提案など) 平成27年4月の子ども・子育て支援新制度により、公立幼稚園の保育料が新しい料金体制となった。その影響を受けないように、国の示す保護者の負担割合に近づけるよう補助金額の引き上げを検討する。</p>	<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状を維持しながら、国の制度改正への対応を行っていく。 27年度からは新制度となるため、私立幼稚園との連携や情報交換を図るなど、丁寧な対応を行う必要がある。</p>							
	自己評価		3					
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直ししながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課		課長名		記入者	
1 事務事業の概要		教育推進課		長島栄作		大江 聡	
事務事業名			新規・継続	事業開始年度	完了予定年度		
京のまなび教育推進事業			新規	年度	年度		
			<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定		
事務事業の体系							
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 遊びは心の栄養源			
	個別計画		(基本計画)	(1) 青少年教育の推進			
根拠法令・条例・要綱等				事業区分【該当する区分に○】			
(京都府)京のまなび教室推進事業費補助金交付要綱				<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
(京都府)土曜日の教育支援体制等構築事業補助金交付要綱				<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容				<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
地域公民館における児童・生徒の居場所づくりや地域の力を活用した様々な体験活動の提供機会として、青少年対象の体験活動事業を実施。H26年度より、新たな府補助制度「土曜日の教育支援体制等構築事業」が設けられ、放課後は京まなび、土曜・夏休みは土曜支援を活用して事業を実施した。				補助金の支給	有	無	<input type="radio"/>
				委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
				<input type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
土曜日や放課後・夏休み中に各種講座や教室を実施することで、児童・生徒の居場所づくりや様々な体験活動の推進を行う(京都府の補助事業)。	府補助事業を活用し、中央・地域公民館において各種講座を開講	各館で工夫を凝らした教室を開催することができ、延べ参加人数で2,500人という多くの子どもたちに、土曜日や放課後における居場所を提供や体験活動を提供することができた。教室によっては、文化祭等で地域住民の方に成果を披露したのもあった。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	8	京のまなび教室推進事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	1,632	1,693	1,809	補助費は報償費 ※H25年度から子ども体験活動事業を統合
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		417	373	428	
	扶助費					
	補助費		1,215	1,320	1,381	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	1,079	1,117	1,205	京都府補助事業 H26のうち 京まなび:112 土曜支援:1,005
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		553	576	604	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	
1	体験事業の開催	小学生対象の体験事業	回数	192	190	178
2						
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
講座・教室の受講人数	人	2,404	2,400	2,500	前年並みの事業実施を目標とし、実際の受講者数を実績として把握する

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	学校における土曜活用等の状況により、実施における考え方の整理が必要となる
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託の可能性	可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり <input checked="" type="radio"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input checked="" type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 京のまなび教室推進事業では、放課後児童クラブと、学校を拠点とした連携を強く求められており、補助事業として続けていくことは困難な傾向にある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 事業そのものは、安定的な運営ができていますが、学校における土曜教育や放課後児童クラブとの関わりの中で、今後の位置づけをどのようにしていくかが重要となる。特に放課後の事業については、国の方向性として「学校での実施」「放課後児童クラブとの連携」が強く求められており、補助要件を満たすかについて検討が必要となる。			
(課題の解決についての提案など) 平成27年度からは放課後学習支援事業も開始する予定であり、公民館における子ども達の受け入れは、土曜・夏休みにシフトしていくことが求められる。	なお、本事業に関連した事業で「学校支援地域本部事業」があり、今後の導入について検討が必要。			
	自己評価			4
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
家庭教育支援基盤形成事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 遊びは心の栄養源	
		(基本計画)	(1) 青少年教育の推進	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
(京都府)家庭教育支援基盤形成事業費補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
各小中学校で家庭教育を支援する講座を開催した場合、講師謝金と消耗品を補助。		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
就学前・在学中と、それぞれの段階に応じた保護者に対する学習機会や交流の場を提供し、子育てを支援する。	府補助金を活用し、与謝野町立の各校において講演会等を実施	各小中学校において、入学生説明会や授業参観などの機会を活用して、発達段階に応じた子育てに必要な知識を学ぶことができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	9	家庭教育事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	169	164	253	補助費は報償費
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		12	21	44	
	扶助費					
	補助費		157	143	209	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	112	109	168	京都府補助事業
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		57	55	85	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 小中学校における計画作成	計画作成	校	11	11	11
2 事業の実施	講演会等	校	11	11	11
3 事業報告	報告書作成	校	11	11	11
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
実施校数	校	11	11	11	町立小中学校全校での実施を目標とし、その到達度を把握する

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/> ある	府補助事業のため、町立小中学校のみの実施となっている
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/> いない	
	連携の 可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/> ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
情報公開	他の事務事業と統合できる可能性は	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり <input type="radio"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み				
(施策を取り巻く環境) 各校において実施方法を工夫いただく中で、単なる講演会の開催ではなく、グループワークを実施する学校も出てきている。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 家庭教育における地域の人材育成を図る必要がある。				
(課題の解決についての提案など) 与謝野町には、家庭教育のグループワークのファシリテーターを担うことの出来る人材が少なく、その育成・組織化が求められる。					
	自己評価		3		
今後の方向性	1 重点的に継続	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	4 縮小を検討
	5 統合・連携を検討	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
青少年育成事業		新規	年度	年度
		○ 継続	○ H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 遊びは心の栄養源	
	個別計画	(基本計画)		—
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町青少年育成会規則		○ ソフト事業		施設の維持管理
				内部管理事務
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定
青少年の健全育成のため、育成会の指導助言などを行う。		補助金の支給		有 ○ 無
		委託	全部委託	○ 一部委託
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
地域全体で子どもを育てていく気運の醸成を図るとともに、子ども達の生きる力を育成する。	子育てふれあい広場・自然体験活動の実施、育成会への指導など	サマーチャレンジ事業においては、夏の体験活動だけでなく、12月に事後研修を行い、「気づき・学び」の定着を図った。育成会活動では、子ども発表会への来場を各校に呼びかけるなど、多くの方に、子ども達の意見を聞いていただけるよう取り組みを行った。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	24	青少年育成事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	4,063	3,881	1,214	サマチャレ補助金については、最終的に実行委員会より返金がある(夢基金助成金を返金)。H26実績で 当初補助額:2,000千円 戻入額:1,667,114円 最終補助額:332,886円 なおサマチャレ、子育てふれあい広場事業はH26で廃止
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		1,876	1,748	17	
	扶助費					
	補助費		2,187	2,133	1,197	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	900	900		みらい戦略交付金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,163	2,981	1,214	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 幼児期における学習機会の提供	子育てふれあい広場の教室数	室	4	3	3
2 自然体験学習機会の提供	サマーチャレンジの実施	回	1	1	1
3 育成会への支援	補助金の交付	回	1	1	1
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
子育てふれあい広場への参加者	人	1,222	1,250	1,365	前年並みの事業実施を目標とし、実際の受講者数を実績として把握する。
サマーチャレンジへの参加者	人	39	50	53	
育成会事業(GG大会・子ども発表会)への参加者	人	303	300	248	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	子育てふれあい広場やサマーチャレンジ事業については、受入れ体制等により参加者数に上限を設けており、より機会均等となるよう、実施方法を検討していく必要がある。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	子育て支援については、福祉課の事業や自主サークルなど、近年充実しており、社会教育としての支援のあり方(独自教室の実施)について検討が必要。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託の可能性	事業委託の可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="radio"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性		1 改善の余地はない			2 改善の余地がややある		
		<input type="radio"/> 3 改善の余地が多い			<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) サマーチャレンジにおける機会均等・一人あたりのコストの考え方、子育てふれあい広場事業と同様の支援策の充実の状況など、総合的に判断する必要がある。 (課題の解決についての提案など) サマーチャレンジ・子育てふれあい広場の両事業についてはH26で終了とし、より適正な事業を模索していく。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 青少年を取り巻く環境が多様化している中、真に解決すべき課題をゼロベースで検討すべく、サマーチャレンジ事業はH26年度で終了する。 また、子育て支援サークルや福祉課の類似事業も充実してきているため、子育てふれあい広場事業もH26年度で終了する。 育成会については、従来どおり継続としていきたい。			
		自己評価		4
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="radio"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
成人式開催事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input checked="" type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
	個別計画	(基本計画)	—	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
(参考:「成人の日」は「国民の祝日に関する法律」による)		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定
成人式の開催		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
式典を通じて新成人の門出を祝うとともに、社会人としての自覚を促し、青年教育の推進を図る。	成人式の開催	233人の方に出席いただき、新成人の門出を祝うことができた。式典の内容はKYTで生中継を行い、町内に広く周知することができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	14	成人式開催事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	593	596	658	補助費は報償費
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		44	32	58	
	扶助費					
	補助費		549	564	600	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		593	596	658	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 新成人の把握	住民基本台帳等	人	281	283	283
2 成人式の実施	成人式の開催	回	1	1	1
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
出席者数	人	223	283	233	対象新成人の100パーセント出席を目標とし、実際の出席者数を実績として把握する。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり		
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/> いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり		
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
事業委託の可能性 可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input checked="" type="radio"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input checked="" type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 実施時期や実施内容については、各自治体により様々である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) ふるさとでの友人等との交流の機会であり、社会人としての自覚を促す意義深い事業であり、今後とも実施していく。			
(課題の解決についての提案など) さらなる経費削減案として、記念写真の印刷配布をやめ、ホームページ等からのデータ配信を行うなどの方法がある。ただし、個人情報保護や記念的な意味から見た場合、適切かどうかは十分な協議が必要。				
	自己評価		4	
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	大江 聡	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
生涯学習支援事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び		
	個別計画	(基本計画)	—		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理	
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
各種講座を実施する事で、誰もが生涯を通して学習を深めていけるよう、生涯学習事業を推進します。		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/	
		委託	全部委託		<input type="radio"/> 一部委託
			委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
誰もが生涯を通して学習を深めていけるよう、生涯学習センターや中央・地域公民館等において各種講座や展示会・音楽会などの文化行事を実施するとともに、様々な年代・地域の方に、人権の大切さについて学習する機会を提供することで、社会教育の推進を図る。また、高齢者教育や障害者教育・女性教育など、あらゆる方々への学習機会を提供する。	人権・高齢者・障害者・女性教育など生涯学習の推進及び芸術文化の振興	各館で実施する事業だけでなく、人権講座では地区公民館に出向いての講座を実施するなど、様々な手法で多数の事業を実施することができた。また、文化協会や婦人会、障害者団体など、町内で活動されている多くの団体等の協力を得て、広く生涯学習の推進を図ることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	23	生涯学習支援事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	4,235	4,104	4,398	補助費は負補交と報償費 人件費は報酬
総事業費の内訳	人件費		667	672	702	
	物件費		899	790	900	
	扶助費					
	補助費		2,669	2,642	2,796	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源		76	90	136	
	一般財源		4,159	4,014	4,262	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 一般講座	知遊館一般講座、文化活動体験講座、月釜の実施	回数	76	80	87
2 人権教育	人権教育講演会の実施	回数	1	1	1
3 高齢者教育	高齢者教室の実施	回数	32	30	29
4 障害者教育	障害者青年学級等の実施	回数	8	8	8
5 女性教育	婦人会への活動補助金の支出	回数	1	1	1

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
一般講座への参加者数	人	1,049	1,100	1,200	前年並みの事業実施を目標とし、 実際の受講者数を実績として把握する
人権教育講演会への参加者数	人	220	220	210	
高齢者教室への参加者数	人	912	900	957	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	生涯学習に対するニーズの把握		
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/> いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input checked="" type="radio"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある			<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 複雑・多様化する社会情勢の中で、生涯学習に求められるものも多様化・高度化している。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 人権教育・障害者教育・高齢者教育・女性教育など多岐にわたり、それぞれの局面において必要な事業であり、継続していくことは必須であるが、住民や地域、社会のニーズなど、各々の分野を取り巻く環境は多様化しており、その把握に努める必要がある。							
(課題の解決についての提案など) 事業のマンネリ化が一番危惧される場所であるが、定期的に各館の情報交換を行うなど、相互に連携や刺激しあい、新たな講座の開設などを行っている。	自己評価 3							
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	大江 聡	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
公民館管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節)	生涯にわたって成長する喜び
		(基本計画)	(1)公民館の充実		
個別計画					
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町公民館条例、施行規則		ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理	
		義務的事業		内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定	
中央公民館、加悦地域公民館の光熱水費や各種消耗品・修繕、消防設備、自家用電気工作物、機械警備、事務機器等のリースなど		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>	
		委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安全で適切な施設管理を図る	施設管理事務の実施	大きな事故等なく利用いただくことができた

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	2	公民館費
事業	1	公民館管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	18,568	17,635	17,697	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		18,568	17,635	17,697	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	467			その他特財は公民館 使用料
	地方債					
	その他特定財源		624	523	500	
	一般財源		17,477	17,112	17,197	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 臨時・嘱託職員の雇用管理	館長、主事、清掃作業員等の 臨時職員の雇用	人	10	10	10
2 中央・加悦地域 公民館の貸館業務	貸館回数	回数	1,165	1,100	1,144
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
中央・加悦地域公民館利用者数	人	32,170	32,000	27,519	前年並みの利用を目標とし、実際の 利用人数を実績として把握す る。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある	類似団体等を参考に、全町的な施 設管理の方針を定めることが必要 ではないか。
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="checkbox"/>	いる	いない	
	連携の 可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある	
情報公開	他の事務事業と統合できる可能性は	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="checkbox"/>	ない	ある	
		他事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="checkbox"/>	ない	ある	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="checkbox"/>	ない	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変 更によるコスト削減の余地は	<input checked="" type="checkbox"/>	ない	ある	
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済 <input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能	
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input checked="" type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 庁舎や学校の再編が進んでいくほどに、公民館に 期待される役割は増していくものと思われるが、同 時に地区公民館と町直轄の公民館の役割も整理 が必要となる。 (課題の解決についての提案など) 町の公共施設マネジメントの中で、どのように位置 づけられるかにより、今後の方向性を検討してい く必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 広域にわたる団体の会議や活動の拠点として、一定の需要がある ものの、今後の方向性については、公共施設マネジメントの結果を 待って検討をしていく必要がある。 ただし、施設の管理コストを削減する努力は、引き続き行っていか なくてはならない。			
	自己評価		3	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 3 内容を見直ししながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
公民館活動事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input checked="" type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
		(基本計画)	(1)公民館の充実	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
		<input type="radio"/> 義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		計画などの策定
中央・加悦地域公民館における一般講座・公演等を実施しています。また、町立公民館長・主事研修会を実施し、公民館活動に関する人材の資質向上に務めています。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
町内公民館活動の一層の推進のため、中核となる中央公民館・地域公民館での活動を進めるとともに、必要な研修等を実施する。	一般講座や交流講座の開講など、各種地域公民館活動の実施	地区公民館の館長・主事を対象とした会議の開催を通して、各館の交流を図ることができた。また、同志社大学真山ゼミより、公民館活動への具体的な提言をいただき、新たな視点で公民館活動を考える契機となった。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	5	公民館費
事業	2	公民館活動事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	694	203	392	補助費は負補交と報償費 人件費は報酬
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		429	56	121	
	扶助費					
	補助費		265	147	271	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				H25のその他特財は環境保全促進助成事業
	地方債					
	その他特定財源		163			
	一般財源		531	203	392	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 地域公民館事業の実施	講座等の実施	回数	15	15	17
2 公民館長・主事研修会の実施	研修会の実施	回数	3	3	3
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
地域公民館 講座・事業参加者数	人	190	190	229	昨年並みの事業実施参加を目標とし、実際の参加人数を実績として把握する。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	地区公民館との連携体制の構築が必要になってきている。	
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/> いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input checked="" type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 地域密着の事業は地区公民館が担っているため、地区公民館との活動の線引きをどうするかが課題である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 中央・地域公民館と地区公民館の関係性を整理しつつ、中央・地域公民館に求められる機能や果たすべき役割を明確にしていく必要がある。							
(課題の解決についての提案など) 地区公民館と地域公民館の位置づけの整理が必要。								
	自己評価		2					
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
地区公民館整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 協働で進めるまちづくり	(節) みんなでつくる元気な地域	
		(基本計画)	(2)地区公民館の充実	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町立公民館条例		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
地区のコミュニティの拠点並びに有事の際の情報拠点施設となる地区公民館の整備		補助金の支給		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
公民館活動の拠点、地域の中核である地区公民館に必要な工事や修繕等を行うことで、適正な整備・維持を図る。	地区要望等に応じて必要な修繕等を行う。	明石地区公民館の新築工事が完了し、新たな地域コミュニティ拠点を整備することができた。また、既存の公民館にも、必要な改修等を行うことができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	2	公民館費
事業	3	地区公民館整備事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	8,091	93,103	750	H25より明石地区公民館新築工事に着手。H25では造成等を実施、設計業務はH26へ繰り越し。H26では新築工事や備品整備を行った。他公民館の修繕も実施した(5館)投資的経費は工請・備品購入
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		2,245	8,030	750	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		5,846	85,073		
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	294	463		みらい戦略交付金 合併特例債 その他は地元寄附金
	地方債		6,900	56,400		
	その他特定財源			29,914	92	
	一般財源		897	6,326	658	

※1)H25からH26への繰越額は3,753千円

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 区要望に基づく修繕等	修繕・工事等の実施	件	2	2	5
2		件			
3		件			
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
改修・建築等数	件	2	2	5	予算執行を伴う修繕等の実施件数

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある	町立公民館であっても、所有形態が町有・区有と分かれており、修繕等の考え方も異なっている	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる ○	いない		
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある		
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	○	ない		ある
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	ある		
事業委託の可能性	事業委託の可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり ○	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	○	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	○ 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 地区公民館の位置づけ・捉え方に地域差がある、地区要望は多数あるが財政的に全てに応えることは困難である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 地域コミュニティ拠点として、公民館の整備推進は今後も必要な事業と考える。ただし、予算に限りもあり、全ての要望に応えることは不可能なため、優先順位を整理しながら進めていきたい。							
(課題の解決についての提案など) 町有の公民館であっても、地域の活動拠点として地域で守り育てていくという意識の醸成が必要である。								
	自己評価		2					
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	○ 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
地区公民館管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 協働で進めるまちづくり	(節) みんなでつくる元気な地域	
		(基本計画)	(2)地区公民館の充実	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業	計画などの策定	
消防設備、機会警備、経常経費の処理のほか、地区公民館活動推進事業委託の実施により地域の生涯学習の拠点として様々な学習機会の創出や、住民の地域づくりの支援を行っています。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
地区公民館における公民館活動の推進を図るとともに、地区公民館の適切な管理に必要な措置を行う。	施設の維持管理の他、公民館活動の推進を行う	20の地区公民館において、公民館活動に取り組んでいただき、多数の事業を実施するとともに、その管理運営にも一定の支援を行うことで、地域コミュニティの推進を行うことができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	2	公民館費
事業	4	地区公民館管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	16,889	16,676	15,959	補助費は報償費
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		13,609	13,396	12,679	
	扶助費					
	補助費		3,280	3,280	3,280	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円		2,525		みらい戦略交付金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		16,889	14,151	15,959	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 地区公民館活動推進事業	地区公民館との委託契約	館数	21	20	20
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
地区公民館活動の参加者数	人	17,657	18,000	20,598	地区公民館委託事業として、一館あたり10事業程度を目標としている。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/> いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
		情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="checkbox"/> ある	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
事業委託 の可能性 可能性	<input checked="" type="radio"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input checked="" type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 公民館活動については、野田川地域の取り組みをベースに構築してきたが、委託金や謝金のあり方について、与謝野町としての整理を行う時期にきている。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 合併後、面的な拡大は出来てきたが、統一の基準で実施してきたため、活動の実態と合わなくなってきている部分がある。各地区の要望全てに応えることは出来ないが、弾力的な運用について検討を行う必要がある。							
(課題の解決についての提案など) 各地区の熱意や実態に応じた配分ができるように、委託の内容や謝金の支払い方法を検討する。								
		自己評価		2				
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		教育推進課	長島栄作	大江 聡	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
知遊館管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節)	生涯にわたって成長する喜び
		(基本計画)	公民館の充実		
個別計画					
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町立生涯学習センター知遊館条例、与謝野町立生涯学習センター知遊館条例施行規則		ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理	
		義務的事業		内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定	
消防設備、機会警備、自家用電気工作物、空調設備等施設の管理業務委託、事務機器等のリースなど		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
			委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安全で適切な施設管理を図る	施設管理事務の実施	大きな事故等なく利用いただくことができた

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	知遊館費
事業	1	知遊館費管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	20,439	23,854	23,504	補助費は報償費
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		20,301	23,697	23,396	
	扶助費					
	補助費		138	157	108	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				知遊館使用料
	地方債					
	その他特定財源		963	1,299	1,000	
	一般財源		19,476	22,555	22,504	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 臨時職員の雇用管理	館長、指導員、清掃作業員等の臨時職員の雇用	人	5	5	5
2 知遊館の貸館業務	貸館回数	回数	1,688	1,700	1,749
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
知遊館の利用者数	人	22,069	22,000	26,957	前年並みの利用を目標とし、実際の利用人数を実績として把握する

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題					
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある				
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	いない				
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある				
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	ある				
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	ある				
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある	総合委託契約をオリックスと締結しているが、業務内容については毎年度見直しを行っている。			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	ある				
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	ある				
事業委託 の可能性	可能性	<input type="radio"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
		<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 与謝野町で唯一の生涯学習センターとして、各種講座の実施や文化芸術に触れる機会創出が期待されている。また、本格的な音響照明設備が備えられた施設として、各種団体の成果発表の場としての根強い需要もある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) ホールを有する施設としての大規模な利用、サークル活動の拠点としての定期利用など、多くの方に利用いただいている。老朽化に伴う修繕費や定期的なメンテナンス等、他公民館に比べ多額のコストは生じているが、町唯一の生涯学習センターとして、適切な管理に努めたい。							
(課題の解決についての提案など) 建設から10年以上が経過し、設備の修繕や取替等を計画的に行い、安全で適切な施設維持に努める必要がある。	自己評価 3							
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
文化財保護委員会運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
			(基本計画) 文化財の保護、及び文化財の活用	
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町登録文化財に関する規則、与謝野町指定文化財の指定及び与謝野町登録文化財の登録の基準		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
文化財保護委員会議の開催、文化財の保護及び活用に関する重要事項並びに指定文化財の審議・答申		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
文化財保護委員会の開催、文化財研修等	委員会を開始し、研修等を行った	文化財行政への理解を高めた

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	2	文化財保護委員会運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	92	51	120	
総事業費の内訳	人件費		92	51	120	
	物件費					
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		92	51	120	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 文化財保護委員活動	文化財保護委員会議	回	1	2	1
2 同	町内指定文化財視察	回	1	1	0
3 同	文化財防火査察	回	4	4	4
4 同	両丹文化財保護連絡協議会	回	1	1	1
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	委員の専門性を高める必要がある。 人選に課題。		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み						
(施策を取り巻く環境) 文化財保護委員会からの積極的な情報発信の取り組みが望まれる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 文化財保護並びに活用について、広く意見や知見を聞くことができる重要な組織である。						
(課題の解決についての提案など) 委員の専門性を高める必要がある。人選に課題。							
自己評価							
今後の方向性	3						
<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
文化財保護・活用事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
			(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用
	個別計画	与謝野町文化財保護活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業		<input type="radio"/> 施設の維持管理
		<input type="radio"/> 義務的事業		<input type="radio"/> 内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		<input type="radio"/> 計画などの策定
臨時職員給与事務、指定文化財管理(滝のツバキ樹勢回復・木造女神坐像の防カビ対策・大風呂南一号墓出土鉄剣保存管理対策等)、文化財広報(文化財標柱管理等)、文化財活用(丹後建国1300年記念事業)、全史協総会等調整		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
文化財を保護活用し、文化財保護意識を高めることで、地域への関心度を高め、町の自活につなげる。	加悦奥川河川敷発掘調査、丹後国遷政の刊行などを実施した。	文化財情報の積極的な広報・周知によって地域の歴史文化の醸成に役立った。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	3	文化財保護・活用事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	5,151	4,593	4,293	
総事業費の内訳	人件費		3,081	3,177	3,147	
	物件費		2,070	1,416	1,854	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		5,151	4,593	4,293	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 臨時職員給与事務	常勤臨時職員1名雇用	-	12	12	12
2 指定文化財管理	業務委託と直営	回	3	3	3
3 文化財広報	直営	件	6	6	6
4 文化財活用	直営	本	6	6	36
5 全史協總會等		回	5	6	6

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	基礎調査が未調査の分野がある。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	分野の範囲が非常に広いため、対処しきれない。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 文化財の保護と活用と調査研究の三者は不可分の関係である。そのためには、基礎資料の整備が必要であり、それに基づき活用事業を計画実施することが求められる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 経費面での負担は大きい、重要な事業である。特に「滝の千年ツバキ」は、樹勢回復事業を実施するも、厳しい状況ではあるが、今後とも根気良く継続していきたい。			
(課題の解決についての提案など) 基礎調査の体制整備が求められる。				
	自己評価		3	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
指定文化財等補助事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる	
	個別計画	(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用	
与謝野町文化財保存活用基本計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町指定文化財等補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
		<input type="radio"/> 義務的事业		内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		計画などの策定
指定文化財の修理等への補助金交付		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
適切な状態で保存されることが必要不可欠であり、所有者の意識を促がし、そのための補助金交付等を行う。	文化財の保護保存の概念に対する所有者等の理解を促がす。	定期的な補助金交付を行った。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	4	指定文化財等補助事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	223	924	800	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		223	924	800	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		223	924	800	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 補助金交付業務		件	5	5	5
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題				
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	所有者の保護保存意識を高める必要がある。		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
事業委託の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能	
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>				
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 所有者の保護保存意識の高揚が不可欠。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 地域にある文化資源の保存を図る上で、重要な事業であり継続する必要がある。			
(課題の解決についての提案など) 地域の文化財と地域文化・歴史との関係性についての認識を深める必要。				
	自己評価 3			
今後の方向性	1 重点的に継続 <input type="radio"/>	2 現状のまま継続 <input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続 <input type="checkbox"/>	4 縮小を検討 <input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/>	7 終了・完了 <input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	堀 由紀子
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
伝統的建造物群保存対策事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画 掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
			(基本計画)	与謝野町文化財保存活用基本計画
	個別計画	与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区保存計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、与謝野町伝統的建造物群保存地区保存条例、与謝野町伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則、与謝野町伝統的建造物群保存地区補助金交付要綱、与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区の軽微な修理に対する補助金交付要項		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
「与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区保存計画」に基づく ・加悦伝統的建造物群保存地区内の建物の保存、防災事業の検討 ・ちりめん街道を守り育てる会の対応 ・加悦伝統的建造物群保存地区内の住民の課題対応など		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
		委託	全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
<ul style="list-style-type: none"> 全国108地区の重伝建地区の一つとして、加悦地区にふさわしい保存修理を実施する。 地区との協議は、住民目線に立った丁寧な助言・指導を心がける。 町民への啓発周知を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助事業として4件の特定物件等の保存修理を実施した。 NPO法人ちりめん街道未来塾と協力し、防災Iの講演会と学習会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 4件の保存修理を実施したことにより、町並みの歴史的風致が整えられた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	8	伝統的建造物群保存対策事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	20,859	9,560	33,135	その他の内訳 消耗品費 30
総事業費の内訳	人件費		461	612	1,020	
	物件費					
	扶助費					
	補助費		20,380	8,817	31,705	
	投資的経費				270	
	その他	18	131	140		
財源内訳	国・府支出金	千円	13,315	6,305	18,811	
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		7,544	3,255	14,324	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	
1	伝統的建造物等の保存	伝統的建造物の保存修理	件	11	4	4
2	伝統的建造物等の保存	伝建地区保存審議会の開催	回	1	1	3
3	伝建地区の防災計画の策定	伝建地区防災計画策定協議会の開催	回	1	0	0
4	伝建地区の防災事業の検討	伝建地区防災事業検討会議の開催	回	2	2	2
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
保存修理(国庫補助事業)の件数	件	11	4	4	国庫補助事業として実施した伝統的建造物の保存修理の物件数

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	工事単価の判断 大規模な建物の修理 空き家状態の家の維持管理 修理の時に、耐震補強の対策まで はされる事例がないこと	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 規模が大きいもの、日常的な居住実態がない建物(空き家含む)の保存修理(維持管理)が課題。町並み(建物)の保存(維持)の意識が弱い。加悦奥川河川改修による町並みの変化。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 長期的な取組であり、今後も継続する必要がある。今後も建造物等の保存・修理を推進するとともに、観光地としての期待もあるため、地域住民との丁寧な協議を持ちながら、活用についても進める必要がある。							
(課題の解決についての提案など) 啓発活動の強化 住民との交流(相談、意見交換、情報共有など) 情報(建物の特性、修理の基本など)を伝え続けること	海の京都構想の取組や空き家対策等、喫緊の課題であり、関係課や関係団体との連携を密に図り、取組を進める必要がある。							
	自己評価		3					
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
遺跡分布調査事業		<input type="checkbox"/> 新規	年度	年度
		<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> H22以前	<input type="checkbox"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる	
		(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用	
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則		<input type="checkbox"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="checkbox"/> 義務的事业	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	計画などの策定
埋蔵文化財の踏査等調査及び周知、報告書作成		補助金の支給	有	無 <input type="checkbox"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="checkbox"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
遺跡地図の刊行。	計画的に実施した	遺跡地図を刊行し、埋蔵文化財保護の基礎データができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	10	遺跡分布調査事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			2,009	3,223	2,149	「遺跡分布調査事業」は平成26年度に最終し、平成27年度以降は「遺跡調査事業」として取り組むこととなる。
総事業費の内訳	人件費	千円				
	物件費		2,009	3,223	2,149	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
	その他					
財源内訳	国・府支出金	千円	1,500	2,250	1,500	
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		509	973	649	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1	遺跡台帳の整備	現地の踏査等	-	1	1
2	埋蔵文化財の保存	試掘確認調査	-	2	3
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題				
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	埋蔵文化財への住民の認識不足		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能	
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 遺跡の資料の基本である遺跡台帳が整備できた。また、開発事業の緊急発掘調査は不定期に発生するので、早期の開発計画の把握が必要。そのためには、一般住民の認識不足の感は否めない。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 今後も必要な事業である。							
(課題の解決についての提案など) 高い精度の遺跡分布調査を行い、埋蔵文化財保護行政の基礎である台帳を整備できたが、開発業者や一般住民への文化財保護法規定の一層の周知が必要である。	自己評価 3							
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	瀬戸真由美
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
図書館管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	18年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
	個別計画	(基本計画)	図書館の充実	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
図書館法 与謝野町立図書館条例		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事业	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定
図書・記録その他必要な資料を収集・整理し、住民の利用に供している。利用促進のため、学校・社会教育施設・ボランティアなどとの連携を強化するとともに、おはなし会や講座等イベントの主催及び支援を行う。		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
蔵書整備のほか、各種イベントを実施し図書館の利用促進を図る。	おはなし会でのボランティアとの連携など主に子どもの読書推進にかかる事業に取り組む。	おはなし会等の催しを全館で実施できたほか、新刊本を中心に、読み聞かせに活用できる大型絵本や紙芝居なども購入し蔵書の充実を図ることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	6	図書館費
事業	1	図書館管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	19,608	19,499	19,103	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		19,546	19,441	18,959	
	扶助費					
	補助費		62	58	144	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		19,608	19,499	19,103	

5 事務事業の手段と活動指標						
事務事業を構成する業務		手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1	図書貸出業務	蔵書整備・相互協力活用を含めたリクエストへの対応	冊	142,206	142,300	140,835
2	蔵書充実のための図書購入	住民の要望に応える鮮度の高い基本的図書の購入	千円	3,485	3500	3,494
3	おはなし会・講座等イベント	読書活動を推進するためおはなし会や講習会を実施	回	34	34	26
4						
5						

6 事務事業の実績					
成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
住民一人あたり貸出冊数	冊	6.05	6.07	6.08	町民の中でどれだけ図書館が活用されているか
町民登録率	%	31.8	32	33.6	

7 事務事業の事後評価							
チェック項目			該当項目に○			担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	住民のニーズの多様化に応える蔵書の充実、資料提供
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	・インターネット活用による利便性の向上をはじめ、図書館利用に関する町民へのPR ・分室職員の待遇改善(昼休憩)
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託 の可能性 可能性	既に全部委託済		更なる委託化が可能		委託化の余地あり <input type="radio"/> 委託化は不可能		
	市場化テストの導入について検討する余地がある			<input type="radio"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性			1 改善の余地はない		<input type="radio"/> 2 改善の余地がややある		
			3 改善の余地が多い		4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性						
職場からの意見			今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境)			(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)			
分室職員の昼休憩時間の確保のため、平成27年2月から試験的に、午後1～2時の間を閉館している。			厳しい財政状況の中ではあるが、分室利用者の利便性を考えると、対応できる体制作りのための予算措置を進めたい。図書館・分室のあり方についての検討を進める必要がある。			
(課題の解決についての提案など)						
昼休憩時間に対応する臨時職員の賃金の予算付け						
			自己評価		3	
今後の方向性	1 重点的に継続		<input type="radio"/> 2 現状のまま継続		3 内容を見直しながら継続	
	5 統合・連携を検討		6 休止・廃止を検討		7 終了・完了	

9 その他特記事項						

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
農村文化保存伝習センター管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
	個別計画		与謝野町文化財保存活用基本計画	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町立農村文化保存伝習センター条例、与謝野町立農村文化保存伝習センター条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定
施設管理、収蔵文化財の管理、文化財の資料整理		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
文化財収蔵庫として維持管理	定期的な点検の実施	適宜点検を実施した

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	1	農村文化保存伝習センター管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	36	117	392	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		36	117	392	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		36	117	392	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 収蔵品の管理	直営	-	1	1	1
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある	収蔵量が容量の限界に近い。 収蔵庫としての空調機器などの設 備が整っていない。	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	ある			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変 更によるコスト削減の余地は		ない	ある		
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
			市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
			3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 収蔵量が容量の限界に近い。 収蔵庫としての空調機器などの設備が整っていない。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 主な用途が一部変更されている状況であり、一般倉庫としての活 用にとどまっており、電気代等の施設維持管理経費のみの支出と なっているが、現状での予算確保は必要である。			
(課題の解決についての提案など)				
予算措置	自己評価 3			
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
三河内郷土資料室管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる	
		(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用	
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町立三河内郷土資料室条例、与謝野町立三河内郷土資料室条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
				義務的事業
				内部管理事務
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定
「与謝野町文化財保存活用基本計画」に基づく ・民具や縮緬織りを中心とした資料展示室の管理運営		補助金の支給		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
年間1,000人入室	小学校の授業利用を促進する	1,000人には届かなかったが、学校利用数は定期的な数値である。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	3	三河内郷土資料室管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	768	849	764	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		768	849	764	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		768	849	764	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	
1	管理運営	2名の管理員の直接雇用	人	2	2	2
2						
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
入室者数	人	659	1000	840	
利用学校数	校	5	5	7	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	利用者の主体である児童の減少
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託 の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性			1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
			3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 利用者の主体である児童の減少の影響が顕著である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 小学校の授業の中で、昔の民具や織機などを学ぶ上で、実際に触れることのできる貴重な資料室として活用されており、今後も維持継続する必要がある。							
(課題の解決についての提案など) サポート体制を再構築する必要がある。								
	自己評価		3					
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>		

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
古墳公園管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる	
	個別計画	(基本計画) 与謝野町文化財保存活用基本計画	文化財の保護、及び文化財の活用	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町立古墳公園条例、与謝野町立古墳公園条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事业	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
施設管理、展示文化財の管理、入園者受付、来園者指導		補助金の支給	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
		委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/>	委託なし(直営) <input type="checkbox"/>	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
入園者数の前年度超え	指定管理者の意識高揚に努める	体験コーナーの充実やイベント開催に向けての指定管理者の意欲が見られる

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	5	古墳公園管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	9,737	10,066	8,711	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		990	1,621	266	
	扶助費					
	補助費		8,500	8,445	8,445	
	投資的経費		247			
財源内訳	その他					
	国・府支出金	247				
	地方債					
	その他特定財源					
一般財源		千円	9,490	10,066	8,711	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 展示品の管理			1	1	1
2 展示施設の管理			1	1	1
3 施設利用イベントの開催			1	2	1
4 来場者の対応		人	3,048	3100	2,711
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
入園者数	人	3,048	3,100	2,711	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	面積規模に対する管理作業(草刈等)		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 学習公園として位置付けられるが、一般公園としての位置付けの意識は高いとは言えない。また、観光公園としての位置付けも課題。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 国史跡の古墳を保存活用する施設として、また丹後のランドマークとしての一面も持ち合わせる施設であり、文化財の保存と観光名所としての重要な施設であると考え。 25年度から、指定管理による管理運営を行っており、イベントなどの実施により、「海の京都構想」やアクセスの整備による、来園者に増加を期待する。							
(課題の解決についての提案など) 一般公園としての活用の検討。観光性を高める方策の検討。	自己評価 3							
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	竹下浩二
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
榎文化資料館管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
	個別計画		与謝野町文化財保存活用基本計画	
		(基本計画) 文化財の保護、及び文化財の活用		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、加悦榎文化資料館条例、加悦榎文化資料館条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
「与謝野町文化財保存基本計画」に基づく ・滝のツバキの施設としての管理運営(指定管理)		建設・整備事業	計画などの策定	
		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 一部委託	
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
京都府指定文化財「滝のツバキ」のガイドダンス施設として、収蔵品を活用しながら管理運営を実施するとともに、全国榎サミットに向けたもてなし環境を整備する。	投句箱の設置など「滝のツバキ」を見に来た客を招き入れる動線作りの取組みを少しずつ実施している。	全国榎サミットに向けて指定管理者・係員の意識が向上し、積極的な提案等が見られるようになった。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	9	榎文化資料館管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			2,489	2,776	5,809	
総事業費の内訳	人件費	千円				全国榎サミットの開催に向けて27年度予算には建物屋根漏水の修繕費として330万円を計上しており、全体事業費を大幅に上げているが、工法によっては大幅減額の可能性もある。
	物件費		33	320	3,353	
	扶助費					
	補助費		2,456	2,456	2,456	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		2,489	2,776	5,809	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1	加悦椿文化資料館管理運営有限公司社人夢村による指定管理	人	830	800	792
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
入館者数	人	830	800	792	椿まつり開催日に限らず、「滝のツバキ」見学者が帰りに立ち寄るケースが増えている。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題				
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	施設として来館者のニーズ調査が未実施で、それを反映させた展示や各種事業に結びついていない。		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない			
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	複数の業者が入札する状況になって初めて指定管理者制度の効率性が顕在化する。当該施設においてはその状況は実現しにくい。		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 「滝のツバキ」の情報発信に関しては常に最新のものを収集・上書きしていく必要がある。また「滝のツバキ」見学者をいかに当該施設に誘導するかが入館者数増加の鍵となる。 (課題の解決についての提案など) 「滝のツバキ」見学者は開花期に集中するが、新緑の様子など、花以外のツバキの魅力についての情報を発信。併せて「ついで寄り」しやすい環境の整備。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 28年4月に開催予定の「全国椿サミット与謝野大会」に向け、中心的な重要な施設として、日本の椿園等周辺の整備が必要である。立地的な問題もあり、集客には課題があるが、一年を通して「滝のツバキ」を鑑賞できる資料館として、また過疎化に悩む地域の活性化施設として、今後も地域と一体となって管理運営を図る必要がある。							
	自己評価		3					
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

開館後18年が経過し、部材の劣化および構造上の問題から、屋根の漏水が顕在化した。経年と建物の特殊性に起因するこうした問題は今後も出てくる可能性がある。

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	竹下浩二
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
江山文庫管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
			(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等			事業区分【該当する区分に○】	
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町立江山文庫条例、与謝野町立江山文庫条例施行規則			<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定
施設管理、展示会の企画と実施、入館者の受付、入館料の出納、入館者への展示解説、文化講座・体験教室等の実施			補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
			委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
通年で入替えを行う企画展示や文化講座等を通じて、当町の特色ある文化としての短歌・俳句や、与謝蕪村、与謝野鉄幹・晶子といった地域ゆかりの文人たちについて理解を深める。	特定のテーマで短歌・俳句資料を展示する平常展を3回行い、地域に残る芭蕉像を特集した特別展を1回行った。読書会や句会体験講座を月例実施し、新たに茶会や吟行を単発実施した。	過去に展示履歴のある館蔵資料を別の切り口により陳列し、来館者の耳目を集めることが出来た。以前より実施の月例読書会に加え、新たに句会体験講座を月例化し、リピーター層を増やすとともに研修室の利用を促進した。茶会や吟行で新規入館者層の開拓が出来た。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	10	江山文庫管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			5,074	5,714	6,193	26年度予算は与謝野町俳句大会補助金120万円を含んでいたが、事業収入が大きかったため約7割を戻し表記決算額となった(25年度は約6割戻入)。27年度予算も同様に補助金110万円を含む。一方26年度に実施の館蔵資料燻蒸(3年1回)と空調設備点検(隔年)がいずれも実施対象年でなく、その分が減額となっている。
総事業費の内訳	人件費	千円				
	物件費		4,577	5,311	5,046	
	扶助費					
	補助費		497	356	1,147	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		5,074	5,714	6,193	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 展示会の企画と開館日数	年間4～5回の企画展を行い、開館日は必ずいずれかの企画展を観覧可能	日	282	285	285
2 文化講座の企画	散発・或いは定期的に展示解説・読書会・体験講座等を実施	回	28	35	35
3 展示施設の管理	収蔵資料の防虫・防カビ燻蒸を3年に1度、空調施設の点検を隔年で実施	回	0	2	2
4 臨時職員の雇用管理	開館日の受付業務臨時職員を雇用	人	3	3	3
5 入館者の対応		人	1,943	2,000	1,638

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
入館者数	人	1943	2000	1638	入館者数は数年横這いであったが、26年度は約16%の減少となった。全体の減少に対し研修室利用者がほぼ同数であるのは新規講座の月例化などによるもの。多くのリピーターに支えられる増加が入館者数の安定化につながると考える。
研修室利用者数	人	446	460	434	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	企画展・文化講座等の周知・宣伝へのさらなる工夫が必要。周辺の類似施設等との相互扶助による周知など出来れば望ましい。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
	連携の 可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	委託化は土日開館受付業務において27年度より実施。ただ「俳句のまち」としての町の施策を反映させた企画展や文化講座の実施まで業者委託するのは困難。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託 の可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能	
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み					
(施策を取り巻く環境) 当施設は地理的に「他の目的のついでに寄る」ことがされにくい。多様な企画展示の効率的な実施によるリピーター層の確保と、自主的に「ついで利用」の需要を作る必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 本町では、地域固有の文化を継承・発展させるため、特色ある教育活動の柱として、「俳句」の取組を進めており、その拠点施設として、「江山文庫」の役割は大きく、各種イベント等とも連携を図りながら、積極的な運営を行う。					
(課題の解決についての提案など) 他施設との共同開催や巡回展等を積極的に取り入れる。また各種講座・イベントを積極的に実施し、「ついで利用」の需要を作り出し、発信する。(27年度で一部実施予定、または実施済み)	町民への施設の認識度を上げるべく、広報・PR活動に取り組む必要がある。					
	自己評価		3			
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	4 縮小を検討
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	

9 その他特記事項

開館から20年が経過し、26年度に大きな修繕は無かったものの、空調設備点検の実施において現在の各個エアコン集中管理の基盤がメーカー在庫払底との情報を得る。その他電気工作物のみならず、今後さまざまな個所の経年劣化・不具合発生が想定される。

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	堀 由紀子
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
旧尾藤家住宅管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
	個別計画		(基本計画) 文化財の保護、及び文化財の活用	
与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区保存計画、与謝野町文化財保存活用基本計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、旧尾藤家住宅条例、旧尾藤家住宅条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
「与謝野町文化財保存活用基本計画」「与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区保存計画」に基づく ・加悦伝統的建造物群保存地区内の一般公開住宅としての管理運営(指定管理)		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/
		委託	<input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 一部委託	
		委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題			
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果	
指定管理者(民間)のノウハウや企画力が発揮され、本施設にふさわしい事業展開を実施する。 展示にテーマを設定する。	テーマ設定後に展示レイアウトを決めた季節展が2回開催できた。(年5回の展示替え) 管理人の勉強会開催。	展示スペースが、平面中心から、立体に広がるようになった。商品の陳列に工夫が見られた。 (品物、数、配置)勉強会の開催により、防災についての情報共有の場が設けられた。	

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	13	旧尾藤家住宅管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	4,329	4,323	4,323	※その他の内訳 火災保険料 171 土地賃借料 207
総事業費の内訳	人件費		3,945	3,945	3,945	
	物件費					
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
	その他	384	378	384		
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		4,329	4,323	4,329	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	
1	旧尾藤家住宅管理運営	ちりめん街道を守り育てる会による指定管理	人	3,566	4,000	4,045
2						
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
入館者数	人	3,566	4,700	4,045	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題				
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	<ul style="list-style-type: none"> 商品の陳列(ディスプレイ)、包装の方法、金額設定の見直し 観光協会などとの連携 テーマ設定後の展示レイアウトの決定 情報発信の方法 		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	<ul style="list-style-type: none"> 休館日の対応の見直し 業務内容の割合の見直し 		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	○	ない			ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	○		ある	
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) ・海の京都事業により、注目される機会が増えている。 ・管理人の意識が向上している。 ・他の地区の方と関わる機会が増えている。(良) (課題の解決についての提案など) 管理人が、良い事例を見て、何が良いのかを分析・理解し、その要素を取り入れ、実行(試行錯誤)してみる。 良い要素(情報)の共有をすること。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 重要伝統的建造物群保存地区「ちりめん街道」の中核施設であり、地区の魅力や歴史を伝承する施設としての役割も担っている。指定管理者による、イベントの開催や関係団体との連携イベントなど、「海の京都構想」との連携の取組により、来館者の増加を期待している。 与謝野町ならでは、ちりめん街道ならでは、旧尾藤家住宅ならではの取組が必要である。							
	自己評価		3					
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		教育推進課	長島栄作	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
遺跡環境維持管理事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
	個別計画		与謝野町文化財保存活用基本計画	
		(基本計画) 文化財の保護、及び文化財の活用		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事业	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
公有地化した指定史跡の現地環境管理(草刈・浚渫等)		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 一部委託	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
常時管理された状況であること	定期的な草刈り等の実施	管理された状態を維持した

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	15	遺跡環境維持管理事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	582	637	551	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		582	637	551	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		582	637	551	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 日吉ヶ丘遺跡維持管理	草刈等	回	4	4	4
2 滝岡田古墳維持管理	草刈等	回	3	3	3
3 地蔵山墳墓維持管理	草刈等	回	3	3	3
4 小森山1号墳維持管理	草刈等	回	3	3	3
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題				
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	保存した遺跡のさらなる周知と活用		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
事業委託 の可能性	<input type="radio"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 保存遺跡のさらなる啓発や活用事業の計画立案の作成が必要。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 定期的な草刈などの維持管理にとどまるが、今後も必要な事業である。			
(課題の解決についての提案など) 見学会などを実施する。				
自己評価 3				
今後の方向性	1 重点的に継続 <input type="radio"/>	2 現状のまま継続 <input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続 <input type="checkbox"/>	4 縮小を検討 <input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/>	7 終了・完了 <input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

--

事務事業評価シート(平成26年度) 【参考:本事業は事業統合によりH25年度より新規発生】

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	吉岡敦文
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
社会教育施設管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input checked="" type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び
			(基本計画)	生涯学習、生涯スポーツの振興
	個別計画	社会教育施設の管理・充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町立若者センター条例、与謝野町立大江山運動公園松風庵条例 三河内山の家条項		ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理
		義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定
社会教育施設の適切な運用と管理に務める		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	
		<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安全で適切な施設管理を図る	若者センター、大江山運動公園茶室、三河内山の家、いきいきふれあい広場の運営・管理	大きな事故等なく利用いただくことができた

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	4	社会教育施設管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	1,104	1,272	898	※H25年度から社会教育施設管理運営事業に再編、建設課よりいきいきふれあい広場の管理事務が移管された
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		1,104	1,272	898	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源		14	71	10	
	一般財源		1,090	1,201	888	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 社会教育施設の運営	三河内山の家の貸し出し	回	7	7	9
2 社会教育施設の運営	若者センターの貸し出し	回	13	13	38
3 社会教育施設の運営	大江山運動公園茶室の貸し出し	回	2	2	2
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
三河内山の家の利用人数	人	101	101	124	前年並みの利用を目標とし、実際の利用人数を実績として把握する。H26の若者センターは「わんぱくクラブ」の利用があった。
若者センターの利用人数	人	170	170	435	
大江山運動公園茶室の利用人数	人	171	171	152	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	無人施設の為、災害時等に施設の現状把握が迅速に出来ない
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/> いる	<input type="radio"/> いない	
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
効率性	手段・プロセスの効率性	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある
		事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託の可能性	事業委託の可能性	コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある		<input type="radio"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 施設の老朽化	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 公共施設マネジメントの策定を踏まえ、今後の活用・廃止について計画的に取り組んでいきたい。			
(課題の解決についての提案など) 年次計画で修繕を行う				
		自己評価		3
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	小西勝歩
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
スポーツ推進委員活動事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び
			(基本計画)	生涯学習、生涯スポーツの振興
	個別計画	スポーツ・レクリエーション活動の活性化支援		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
スポーツ基本法(平成23年法律第78号)19条、与謝野町スポーツ推進委員に関する規則(平成18年与謝野町教育委員会規則第41号)		<input type="radio"/>	ソフト事業	施設の維持管理
			義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定
住民に対し、スポーツの実技指導・スポーツ教室・イベントの企画立案、運営等を行い、町のスポーツ振興及び住民の健康増進に努めている。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
住民の要望によりスポーツ指導を行うとともに、主要事業であるスポーツイベントを定期的に行い、住民の健康増進に努める。スポーツイベントの参加者の増加を目指す。	住民の要望により、スポーツ指導、スポーツイベントを開催した。平成26年度においては、スポーツイベントの一つである「スポーツフェスタ」の参加者が前年より30人近く増加した。	住民の要望により、スポーツ指導、スポーツイベントを開催した。26年度においては、住民からの強い要望によりウォーキングイベントを春だけではなく秋にも開催し、住民の健康増進に努めた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	2	スポーツ推進委員活動事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	1,547	1,577	1,667	
総事業費の内訳	人件費		1,422	1,443	1,500	
	物件費		68	70	79	
	扶助費					
	補助費		57	59	72	
	投資的経費					
その他			5	16		
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,547	1,577	1,667	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 スポーツ推進委員会	会議の開催	回	12	12	12
2 スポーツ推進委員主要事業	スポーツ大会・体験会等の開催運営	回	3	4	4
3 よさのふれあいニュースポーツ	ニュースポーツ教室の開催運営	回	22	22	22
4 スポーツ指導業務	町民へのスポーツ指導	回	7	5	4
5 各種団体への事業協力	各種団体が行うスポーツ事業への運営協力等	回	9	5	7

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
スポーツ推進委員主要事業	人	267	300	318	事業への参加人数及び委員を派遣してスポーツ指導を行なった人数。
よさのふれあいニュースポーツ	人	238	250	447	
スポーツ指導業務	人	285	300	156	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	・町民のスポーツ推進委員活動への認知度が低い。 ・学校を通してのスポーツ指導の依頼は多いが、住民からの指導の依頼は少ない。		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/> いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある			<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 町民の方のスポーツ推進委員活動への認知度低い為、学校を通してのスポーツ指導の依頼は多いが住民からのスポーツ指導は少ない。スポーツ推進委員の活動内容を知っていただく必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 生涯スポーツの普及・推進のために、子どもから大人まで幅広い層の住民に対して指導を行っていただき、今後ともPR活動を行いながら継続していく必要がある。							
(課題の解決についての提案など) スポーツ推進委員が主催するイベントの参加者増加を目指し、スポーツ推進委員活動を町民の方へ幅広く知っていただく。	自己評価 3							
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	小西勝歩
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
社会体育団体育成事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画 掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び
			(基本計画)	生涯学習、生涯スポーツの振興
	個別計画	スポーツ指導者・団体の育成		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定
社会体育団体への支援又青少年少女へのスポーツ活動の場を提供し、スポーツを通じて心身を鍛錬する団体の育成を図る。		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
生涯スポーツの振興及び青少年少女へのスポーツの場を提供し、スポーツを通じて心身を鍛錬し各種団体の育成を図ることを目的とする。	体育協会及びジュニアスポーツ連絡協議会に補助金を交付した。	補助金を交付する事により各種競技団体の自主運営が可能となり、さまざまな大会や教室の自主開催が可能となり、競技力の向上に寄与している。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	4	社会体育団体育成事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	2,527	2,527	2,527	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		2,527	2,527	2,527	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		2,527	2,527	2,527	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務		手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1	Jr.スポーツ連絡協議会	理事会の開催	回	3	3	2
2	Jr.スポーツ登録団体	登録数	数	33	33	32
3	社会体育団体	登録数	数	16	16	16
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
Jr.スポーツ連絡協議会理事会の開催	回	3	3	2	理事会の開催 Jrスポーツ及び社会体育団体の登録の強化
Jr.スポーツ登録団体	数	33	33	32	
社会体育登録各種団体	数	117	120	109	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	各種社会体育団体において、高年齢化が進み、役員等の後継者作りが課題だと思われる。又、少子化によりJrスポーツ団体も合同チームを作るなど、選手集めに苦慮されている。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/> いる	<input type="radio"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/> ない	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	生涯スポーツを推進していくためには、さらなる支援、協力が不可欠である。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="radio"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) ジュニアスポーツにおいては、子どもの少子化により、クラブ員が不足し、チームの合併が増えている。また、社会体育団体においては、若者が少なく高年齢化が進んでいる。 (課題の解決についての提案など) 各団体へ支援、協力をし若者のクラブ員増加も目指す。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 社会人ボランティアにより、ジュニアスポーツの指導を通して、青少年の健全育成に尽力いただいております。今後とも出来る限りの支援が必要と感じている。また社会人の高年齢化が心配されるが、組織運営がスムーズに行えるよう継続した支援が必要である。			
		自己評価		3
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	吉田雅広
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
スポーツイベント開催事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び
			(基本計画)	生涯学習、生涯スポーツの振興
	個別計画	スポーツ・レクリエーション活動の活性化支援		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定
町民のスポーツ振興のため、よさの大江山登山マラソン大会及び与謝野町駅伝競争大会各実行委員会への補助金及び丹後大学駅伝後援会への分担金		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 一部委託	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
町民の健康増進、体力向上及び与謝野町のアピールと住民相互の交流を図ることを目的とする。	登山マラソンにおいては、準備関係等のスタッフの負担軽減と効率化に努めた。	よさの大江山登山マラソン大会では、本年度においても1,100名を超える参加申込があり、参加者と住民との交流が図れた。駅伝大会においても、全小学校区から10チームの参加があり、子どもから大人まで世代を越えての交流が図れ有意義な大会となっている。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	10	スポーツイベント開催事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	3,182	3,298	3,313	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		57	48	63	
	扶助費					
	補助費		3,125	3,250	3,250	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,182	3,298	3,313	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 登山マラソン事務局	実行委員会の開催	回	4	5	4
2 参加者の募集等	ダイレクトメール、インターネット	人	1,204	1,000	1,136
3 ボランティアの依頼	体育協会他各種団体	人	438	450	460
4 駅伝実行委員会への参画	実行委員会の開催	回	4	4	4
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
登山マラソン参加者	人	1,204	1,000	1,136	
町駅伝全小学校区からの参加	チーム	12	12	10	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり	登山マラソンにおいて、参加者増による受入体制、また悪天候等における迅速な対応が課題となっている。	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
他の事務事業と統合できる可能性は		<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり	参加者増により参加料金も増加しているが、その分、支出も増加しさらには老朽化により看板等の更新も必要でありコスト削減にはしばらくかかる。	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input checked="" type="radio"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 参加者増に見合った受入施設や環境が整っていないのが現状であるが、施設の改修等徐々に整備が進んでいる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 登山マラソンは、本町においての一大イベントであり、観光や地域コミュニティの推進に大きな成果を上げており、マンネリ化にならないよう創意工夫しながら、継続していきたい。 また、駅伝大会においても、子どもから大人までが一体となる大会であり、地域の絆づくりや交流が図れる有意義な大会となっているが、地区役員等の負担軽減等も体育協会と調整・検討し継続していきたい。							
(課題の解決についての提案など) 可能な限りコスト削減を図り、外部委託出来る部分については専門業者に委託することにより、改修を不要とする。	自己評価 3							
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	小西勝歩
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
スポーツクラブ育成事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び
			(基本計画)	生涯学習、生涯スポーツの振興
	個別計画	スポーツ・レクリエーション活動の活性化支援		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定
スポーツクラブへの支援		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	
		<input checked="" type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
生涯スポーツの振興並びに普及、またこれに伴う町民の健康増進が目的とする。地域によってはクラブ員が減少傾向にある事が課題である。	多くのイベントを開催し町民の健康増進に努めた。会員の減少が課題となっていたこともあり、会費の区分するなど工夫を行ったが会員増加へとは繋がらなかった。	両スポーツクラブ共、年間通して多くのイベントを開催し、スポーツ活動の振興を図り会員の健全な心身の育成に寄与すると共に会員相互の親睦を図った。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	6・10	スポーツイベント開催事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	596	596	599	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		26	26	29	
	扶助費					
	補助費		570	570	570	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		596	596	599	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	
1	スポーツクラブ会員	会員募集	人	277	280	264
2	事業実施	プログラム	数	19	20	19
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
スポーツクラブ会員数	人	277	280	264	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある	スポーツ推進委員会が中心となり 独立して運営をしているが、会員 数が減少傾向になっている事が課 題である。	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる ○	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	○	ない		ある
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	○	ない		ある
		情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	○		ない
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	○	ない	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	○	ない	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	○	ない	ある	
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり ○	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 近年会員数が減少傾向にある事が、課題とみられる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) totoの助成制度の期間が過ぎ、会費等の値上げもある中で、会員の確保が課題であるが、スポーツ推進委員を中心に努力をしていただいております。町としても生涯スポーツの推進を進めるためには継続的な財政支援が必要と考える。							
(課題の解決についての提案など) 町民へスポーツクラブの活動やイベントを幅広く知ってもらい、子供から大人、高齢者の会員増加へむけた取り組みが必要である。								
	自己評価		3					
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	吉田雅広
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
屋内体育施設管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画 掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び
			(基本計画)	生涯学習、生涯スポーツの振興
	個別計画	スポーツ施設の効果的な活用と管理		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理
		義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定
体育施設の管理運営		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
		委託	全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
町民が安心して事故等も無く施設を利用出来るよう管理運営を行う。	各種施設の保安全管理委託等 岩滝体育館建築物定期検査業務	各種施設の保安全管理委託等の完了 岩滝体育館建築物定期検査業務の完了

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	2	社会体育施設費管理費
事業	12	屋内体育施設管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度 決算	26年度 決算	27年度 計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	101,748	8,180	8,434	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		9,325	8,180	8,434	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		92,423			
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	51,814			使用料
	地方債		40,500			
	その他特定財源		1,154	1,404	1,150	
	一般財源		8,280	6,776	7,284	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 自家用電気工作物保安業務委託	業者委託	回	12	12	12
2 消防施設点検委託	業者委託	回	3	3	3
3 浄化槽維持管理委託	業者委託	回	12	12	12
4 岩滝体育施設管理運営業務委託	体育協会	日	359	359	359
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
施設の利用者数	人	40,601	42,000	43,914	多くの町民が安心してスポーツに 専念できる場所の提供
事故件数	件	0	0	0	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある	大規模改修が完了した大江山体 育館を除く、各施設の老朽化によ り、不具合等が発生し時間外に対 応しなければならない事が増加し ている。		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる ○	いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある			
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	○	ない		ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	○	ない		ある	
		情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	○		ない	ある
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変 更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	ある			
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある			<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	○ 3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 町において公共施設マネジメントを作成中である。その結果を踏まえて、岩滝体育館の耐震改修計画や他の施設の在り方を検討する必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 屋内体育施設は、社会体育施設としての中核施設であり、今後とも維持管理の必要があるが、改修済の大江山体育館以外の施設の老朽化が激しく喫緊の課題であり、特に、岩滝体育館の耐震診断の結果において大規模改修の必要が生じており、公共施設マネジメントの結果を踏まえて、建替えも視野に入れた計画の検討が必要である。							
(課題の解決についての提案など)	自己評価 3							
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	○ 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		教育推進課	長島栄作	吉田雅広
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
屋外体育施設管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び
			(基本計画)	生涯学習、生涯スポーツの振興
	個別計画	スポーツ施設の効果的な活用と管理		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
町民が安心してスポーツに親しむことが出来る生涯スポーツ社会の実現を支援するため		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
町民が安心して事故等も無く施設を利用出来るよう、管理運営を行う。 城山公園テニスコート改修工事の計画を行う。	各種施設の保守管理委託等 野田川テニスコート引込盤修繕 スポーツラクター修繕 城山テニスコート改修助成金申請	各種施設の保守管理委託等の完了 野田川テニスコート引込盤修繕完了 スポーツラクター修繕完了 城山テニスコート改修助成金申請内定 (toto)

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	2	社会体育施設費管理費
事業	12	屋外体育施設管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	39,860	9,012	47,813	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		11,006	9,012	9,313	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		28,854		38,500	
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	16,186	228		使用料、くじ助成金
	地方債		12,600		10,000	
	その他特定財源		1,775	1,470	29,370	
	一般財源		9,299	7,314	8,443	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績
1 自家用電気工作物保安業務委託	業者委託	回	16	16	16
2 浄化槽維持管理委託	業者委託	回	12	12	12
3 草刈作業業務委託	業者委託	回	3	3	3
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度 実績	26年度 目標	26年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
施設の利用者数	人	54,026	57,000	48,964	多くの町民が安心してスポーツに専念できる場所の提供
事故件数	件	0	0	0	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	各施設の老朽化により、不具合が生じることが増えている。特に利用団体より改修要望の強かった城山公園テニスコートの全面改修が、スポーツ振興くじ(toto)の助成金を活用し27年度に改修見込みとなった。	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/> いる	<input type="checkbox"/> いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> ない		<input type="checkbox"/> ある
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> ある	計画的に施設の修繕維持管理に努める必要があり、さらに、有利な補助金等の活用を模索する必要がある。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性	可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> ○	委託化の余地あり	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/> ○	市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み										
(施策を取り巻く環境) 施設の老朽化により、毎年多額の修繕維持管理費が発生している。また、施設が点在しており維持管理にコストが掛かっている。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 屋外体育施設は、社会体育施設としての中核施設であり、今後とも維持管理していく必要があるが、施設の老朽化が激しく喫緊の課題であり、計画的に進めていきたい。また、懸案であった城山公園テニスコート改修については、スポーツ振興くじ助成金申請(toto)が内定し、27年度において改修見込みであり、遅滞なく事業を進める。										
(課題の解決についての提案など) 計画的な施設の修繕、維持管理及び定期的な施設の点検。	自己評価 3										
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1 重点的に継続</td> <td><input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続</td> <td><input type="checkbox"/> ○</td> <td><input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続</td> <td><input type="checkbox"/> 4 縮小を検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討</td> <td><input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討</td> <td><input type="checkbox"/> ○</td> <td><input type="checkbox"/> 7 終了・完了</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	
<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討							
<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> ○	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了								

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長(所長)名	記入者
		教育総務課	城崎敏一	増田靖彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
給食センター運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画) 教育内容の充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町立学校給食センター条例		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
与謝野町立学校給食センター条例施行規則		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
与謝野町立学校給食センター運営委員会設置要綱		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
事務事業の具体的内容		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
児童生徒の体力向上、食習慣の形成等健やかな発達へ向けた給食内容の充実を図る		委託	全部委託	一部委託
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安心安全な学校給食の提供	調理前・後の衛生管理を徹底して行う。また食材搬入業者に対しても衛生管理を徹底させる	事故なく給食の提供ができた

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	3	学校給食費
事業	1	給食センター運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	133,312	130,101	128,829	管理運営費
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		133,303	130,101	128,829	
	扶助費					
	補助費		9			
	投資的経費 その他					
財源内訳	国・府支出金	千円	760			負担金・給食費
	地方債					
	その他特定財源		107,919	104,768	103,964	
	一般財源		24,633	25,333	24,865	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 学校給食センター運営委員会	運営委員会の開催	回	1	1	1
2 同上 献立指導部会	献立指導部会の開催	回	5	5	5
3 同上 経理部会	経理部会の開催	回	0	1	0
4 給食費滞納整理	過年度分個別徴収	千円	353	250	117
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
除去食の個別容器	人	32	30	32	除去食対象:鶏卵、魚卵、マヨネーズ 対象人数:100人
食育指導	回	10	5	5	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 平成27年度より岩屋小学校が市場小学校に編入され、5年後には1,600食程度になる予定である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 食数は減るものの、調理道具等が減るものではないため、今後の学校統廃合等も見据えて引き続き継続していく必要がある。			
(課題の解決についての提案など) 岩滝小学校・岩滝幼稚園の将来的な取り込みも視野に入れた検討も必要である。				
自己評価 4				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長(所長)名	記入者
		教育総務課	城崎敏一	増田靖彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
給食センター施設整備事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画) 学校施設・設備の整備		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町立学校給食センター条例		ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理
与謝野町立学校給食センター条例施行規則		義務的事業		内部管理事務
与謝野町立学校給食センター運営委員会設置要綱		建設・整備事業		計画などの策定
事務事業の具体的内容		補助金の支給	有	無
センター施設管理維持並びに機械・備品等の更新の実施		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
センター施設管理維持並びに機械・備品等の更新の実施	調理機器の購入 調理室空調機修繕	左記、取組により事故なく、給食提供を実施することが出来た

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	3	学校給食費
事業	1	給食センター施設整備事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	25年度決算	26年度決算	27年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	16,830	966	1,700	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		871	583	1,700	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		15,959	383		
	その他					
財源内訳	国・府支出金	千円	1,053	191		みらい戦略一括交付金
	地方債		12,400			合併特例債
	その他特定財源		369	162	262	施設整備負担金
	一般財源		3,008	613	1,438	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績
1 自家用電気工作物保安業務	委託	回	6	6	6
2 ボイラー保守点検	委託	回	3	3	3
3 空調設備保守点検	委託	回	2	2	2
4 受水槽清掃	委託	回	1	1	1
5 地下タンク漏洩検査	委託	回	1	1	1
6 排水枘汚泥処理	委託	回	6	6	6

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	25年度実績	26年度目標	26年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
設備更新・改修	千円	16,830	560	966	工事請負費・備品購入費

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	-	ない	-	ある	
事業委託の可能性可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		1 改善の余地はない		<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

(施策を取り巻く環境)		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)					
機械器具の日常の点検清掃や計画的な更新を行っているが、施設事態が老朽化しており改築も含めて検討が必要		設備の使用・運転について現場作業の安全意識の向上に努める。日常の設備点検や整備を行い適正な管理に努める。計画的な設備の更新に努める。また、設備の更新に当っては設備を使用する調理員の意見を反映し安全性や効率性に配慮したい。					
(課題の解決についての提案など)							
日常の適正な設備管理 計画的な設備の更新		自己評価		4			
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

事務事業評価シート(平成26年度)

25年度
決算

26年度
決算

H22以前

27年度
計画

委託化の余地あり